

コイン店向け

キャッシュレス専用決済機

RST-20UB-J

取 扱 説 明 書

- このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- ご使用前に必ず本書「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。

株式会社TOSEI

目次

◆重要なお知らせ◆	1
安全上のご注意	2
<機械の仕様>	5
<製品確認>	6
機械組立取付	8
1. キャッシュレス専用端末の取り付け準備	8
2. 決済機 p400 のキャッシュレス端末接続	9
3. キャッシュレス専用端末への決済機 p400 取付	11
4. キャッシュレス端末台座取付	11
キャッシュレス専用端末ソフト設定、決済機 p400 設定・動作確認手順	13
1. キャッシュレス専用端末電源投入	13
2. 自動起動ソフト終了	13
3. キャッシュレス専用端末のコンピュータ名称の設定	14
4. EVER/IP のインストール	16
5. 決済機 p400 設定	18
6. 決済機接続テスト	24
7. キャッシュレス専用端末のソフト設定	25
8. キャッシュレス専用端末での決済動作確認・周辺機器動作確認	29
9. エビデンス情報取得	32
お客様の操作方法	33
1. 情報端末の起動	33
1.1 起動方法	33
2. 情報機器の操作	34
2.1 洗濯物の投入	34
2.2 デジタルサイネージ表示の解除	34
2.3 ランドリー機器操作方法の選択	35
2.4 ランドリー機器の選択	37
2.5 コース種別の選択	39
2.6 コースの選択	40
2.7 お支払方法の選択	41
2.8 スマートレシート連携	42

2.9 電子マネー残高確認.....	43
2.10 電子マネーブランドの選択	44
2.11 お支払.....	45
2.12 お支払完了	46
3. システムメンテナンスについて	48
3.1 メンテナンス通知 (AM3:30~).....	48
3.2 メンテナンス開始 (AM3:55~).....	48
3.3 システム起動 (AM4:20~).....	49
4. エラーが発生した場合の対応.....	50
4.1 お支払時にエラーが発生した場合	50
4.2 お支払時にタイムアウトが発生した場合 (未了確認書印刷あり)	50
4.3 お支払時にタイムアウトが発生した場合 (未了確認書印刷なし).....	51
4.4 ランドリー機器の運転に失敗した場合 (預かり書印刷あり).....	51
4.5 ランドリー機器の運転に失敗した場合 (預かり書印刷なし)	52
4.6 操作中にシステムトラブルが発生した場合	52
4.7 取扱停止中の場合	53
4.8 画面が真っ黒になっている場合	53
4.9 操作を中止したが機器のドアロックが解除されていない場合.....	53
4.10 操作を一旦中止して同じ機器が選択できない場合	53
管理画面の使用方法	54
1. 管理メニュー	54
1.1 画面各部の名称と機能	54
1.2 管理メニューの表示方法	56
2. 管理メニューの操作	57
2.1 運用終了	57
2.1.1 電源断 (シャットダウン) をする.....	58
2.1.2 デスクトップを表示する.....	58
2.2 精算.....	59
2.2.1 精算を開始する	60
2.2.2 点検レポートについて.....	62
2.2.3 精算レポートの再印刷をしたい場合.....	63
2.3 売上レシート再発行.....	65
2.3.1 レシート再発行をする	65

2.4 テスト印刷.....	66
2.4.1 テスト印刷をする.....	66
2.5 取引履歴確認.....	67
2.5.1 レシートの再印刷をしたい場合	72
2.6 取扱中止表示.....	73
2.6.1 取扱中止画面を表示する.....	73
2.6.2 取扱中止画面を終了する.....	74
2.7 操作ログ送信	75
2.7.1 上位サーバへログを送信する.....	75
2.8 未送信データ再送信	76
2.8.1 上位サーバへデータを再送信する.....	76
保証.....	77
アフターサービスについて.....	78

◆重要なお知らせ◆

■本製品について

- 本製品をお使いになるときは、必ず本書に従ってください。
本書の記載内容を守らない事により生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 製品本来の使用目的以外に使用して生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なしに変更することがあります。
- 本製品は日本国内仕様であり、国外の規格などには適合していません。
本製品を国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いません。
また、当社は本製品に関する国外での保守サービス、および技術サポートなどは行っていません。

■本書について

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容については万全を期しておりますが万一、不審な点や誤り、お気づきの点等がございましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
- その他、本書に記載している商品名は商標登録または商標になっている場合があります。

■移設・廃棄・譲渡について

- 本製品を移設する場合は、専門業者またはお買い上げの販売店までご相談ください。
据付不備があると感電・火災の原因になります。
- 本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物として扱われます。
専門の廃棄業者へご依頼ください。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品を転売・譲渡する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

表示と意味は、次のようになっています。

■ 表示の意味

表示	表示の意味
 危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などを指します。

*3：物的損害とは、家屋・家財及び家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

図記号	図記号の意味
 禁止	 この表示は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	 この表示は指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	 この表示は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

《免責事項について》

- ◆ 地震、雷、火災、第三者の行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ◆ 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な障害(事業利益の中断による損失など)に関して当社は一切の責任を負いません。
- ◆ 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ◆ 海外で使用した場合当社は一切の責任を負いません。

⚠ 危険

◆ 異常時は使用しない

『感電、火災の危険性があります』

- ・ 煙が出たり、異臭・異音などの異常事態の場合は機械を停止し、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



異常時は
電源プラグを抜く

◆ 子供など取り扱いに不慣れな方には使わせない

『感電、けがの危険性があります』

- ・ 子供、または取り扱いに不慣れな方に操作させない。
- ・ 思わぬ不注意で感電、けがをするおそれがあります。



禁止

⚠ 警告

◆ 本機の取付は専門業者へ

『感電、火災、けがの危険性があります』

- ・ 取付は、お買い上げの販売店にご連絡ください。



禁止

◆ コンセントは単独で使用

『火災の危険性があります』

- ・ 交流 100V のコンセントを単独で使用してください。
 - ・ アース配線工事も必ず実施してください。
- そのまま使用すると「火災」、「感電」のおそれがあります。



専用コンセント使用
アース工事

◆ 落雷の恐れがある時は電源をコンセントから抜く

『感電、火災の危険性があります』

- ・ 雷が鳴り始めたら、早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。



コンセントを抜く

◆ 濡れた手で操作しない

『感電、漏電の危険性があります』

- ・ 濡れた手で本機を操作したり、水をかけないでください。



水かけ禁止

◆ パネルを外したまま運転をしない

『感電の危険性があります』

- ・ 本製品のパネルを外したまま運転しないでください。
- お客様がケガを負うおそれがあります。



パネルを開けたまま
運転しない

◆ 分解・改造・修理をしない

『火災、感電、けがの危険性があります』

- ・ お客様ご自身で本機の分解、改造、修理をしないでください。
- 感電やショートによる火災、また、異常動作により爆発、火災が起こるおそれがあります。
- ・ 修理はお買い上げの販売店にご連絡ください。
- また、警告ラベルの取り外し、破損、改造はしないでください。



分解禁止

◆ 機械をメンテナンスする時は

『感電の危険性があります』

- ・ 必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて作業してください。

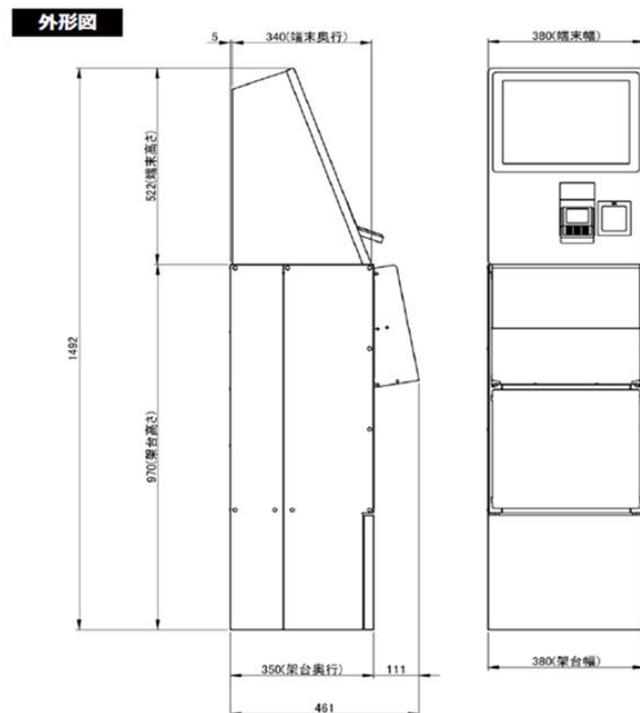


電源プラグを抜く

警告

<p>◆ 長期間ご使用にならない時は</p> <p>『火災・感電・ケガの危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none">・電源をコンセントから抜いてください。 <p>絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。</p>	 電源確認
<p>◆ 水などが入ったとき</p> <p>『感電・火災の危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none">・万一、本機内部または電装部に水が入ったときは運転を停止し、電源を切り、お買い上げの販売店にご連絡ください。	 電源を切る
<p>◆ 電源コードを無理に曲げたり、傷付けたり、引っぱったり、重い物を乗せたり、加熱しない</p> <p>『感電、火災の危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none">・電源コードを傷つけると、「感電」「火災」のおそれがあります。 <p>万一、電源コードが傷ついたときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。</p>	 禁止
<p>◆ 本製品を落としたり、強い衝撃を与えない</p> <p>『感電、火災の危険性があります』</p> <ul style="list-style-type: none">・破損し「感電」、「火災」のおそれがあります。	 禁止

<機械の仕様>



外形寸法：幅 380 mm × 奥行 350 mm 高さ 1492 mm (BOX 含まず)

製品質量：上部 23 kg 架台 27 kg 合計 50 kg

注意点

- ・100V アース付コンセントを1か所ご用意ください。(延長コードは望ましくありません。)
- ・本体上部背面から電源コード及びLANケーブル(店舗管理システム TNS-200/バックヤードまで) 引き回しが必要です。キャッシュレス端末 (P400) 含めた設置設定を全て終了したのちに、設置してください。(メンテナンスの際、背面から作業を行うことがございます。設置場所、設置方法にはご配慮ください。)
- ・TOSEI クラウドへの接続が必要です。
- ・キャッシュレス端末 (P400) は、ご契約完了後、ご契約先に発送されます。
端末が届きましたら本体への設置・設定が必要です。

キャッシュレス端末設置の前に、背面に記載されているシリアル NO.を控えてください。故障時に必要な番号となります。

接続可能対象機械 (CL5B/C/D CPU 基板、CTA CPU 基板、CL6 CPU 基板 使用機械)

下記「TOSEI」製品および「靴洗濯乾燥機」です

- ・洗濯乾燥機 SF-122CN / 222CN / 322CN
(製造番号 1001 号機) 以降の機種
- ・乾燥機 CT-143GK / 143W / 253GK
(製造番号 1001 号機) 以降の機種
- ・洗濯機 CW-122 / 222
(製造番号 1001 号機) 以降の機種
- ・店舗管理システム TNS-100 (製造番号 1001 号機) 以降
- ・店舗管理システム THS-300 / TNS-200

※TNS-100 または THS-300 で使用する場合はクラウドへの改造が必要となります。

※接続する機械のソフトバージョンアップが必要です。

キャッシュレス 決済端末搭載



※「nanaco」は株式会社セブン・カードサービスの登録商標です。「WACON (フォン)」はイオン株式会社の登録商標です。「楽天 Edy (ラクテンエディ)」は、楽天グループのアプリ決済専用サービスです。また、ポイントも貯めるには設定が必要です。「iD」は、株式会社 NITTI コメの登録商標です。「QUICPay」は、株式会社シーシービーの登録商標です。「Suica」は、株式会社東武東上線の登録商標です。「PASMO」は、株式会社パソモの登録商標です。「Kitaca」は、北海道旅客鉄道株式会社の登録商標です。「TOICA」は、東海旅客鉄道株式会社の登録商標です。「manaca」は、株式会社名古屋交通開発機構及び株式会社エムアイシーの登録商標です。「ICOCA」は、西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。「SUJGOCA」は、九州旅客鉄道株式会社の登録商標です。「nimoca」は、西日本鉄道株式会社の登録商標です。「はやかけん」は、福岡市交通局の登録商標です。※QR コードの商標はデンソーウェーブの登録商標です。

スマホアプリ 接続対応

コインランドリー用スマホアプリ (アプリ決済専用)



電子レシート対応

スマホにレシートが届くレシート管理アプリ



システム構成イメージ



※キャッシュレス端末はTOSEIクラウド専用VPN回線とHUBで分岐して接続してください。
ルータ・HUBは、お客様にて設置・設定してください。

<製品確認>

■キャッシュレス専用端末本体

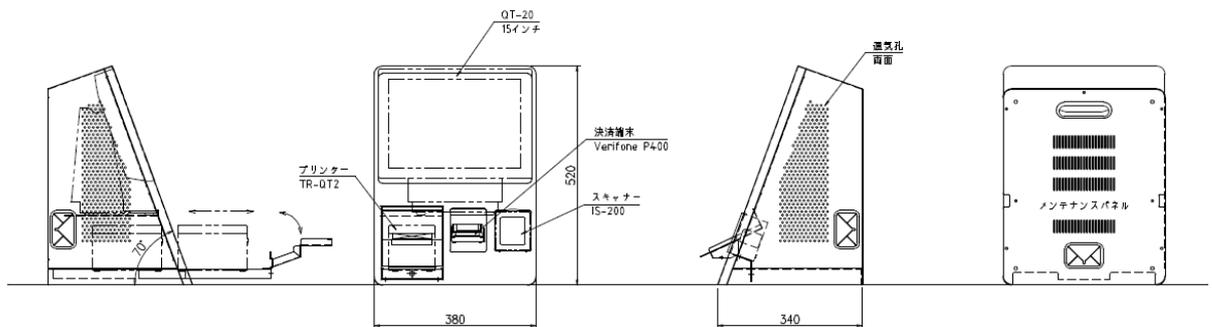
表



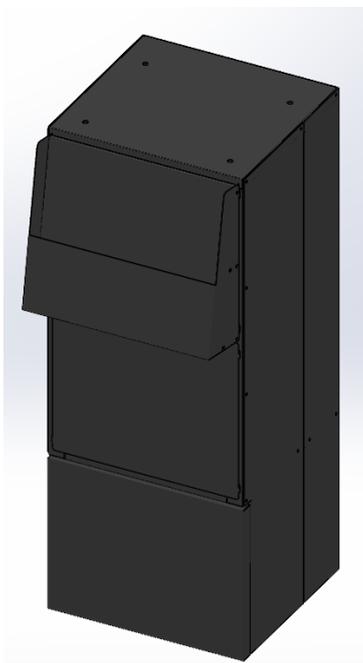
裏



鍵（プリンター） 1本
各種取説 4種類



■置台（接続ボルト、アンカー等含む）



付属品



オールアンカー
(C-1210) 2本

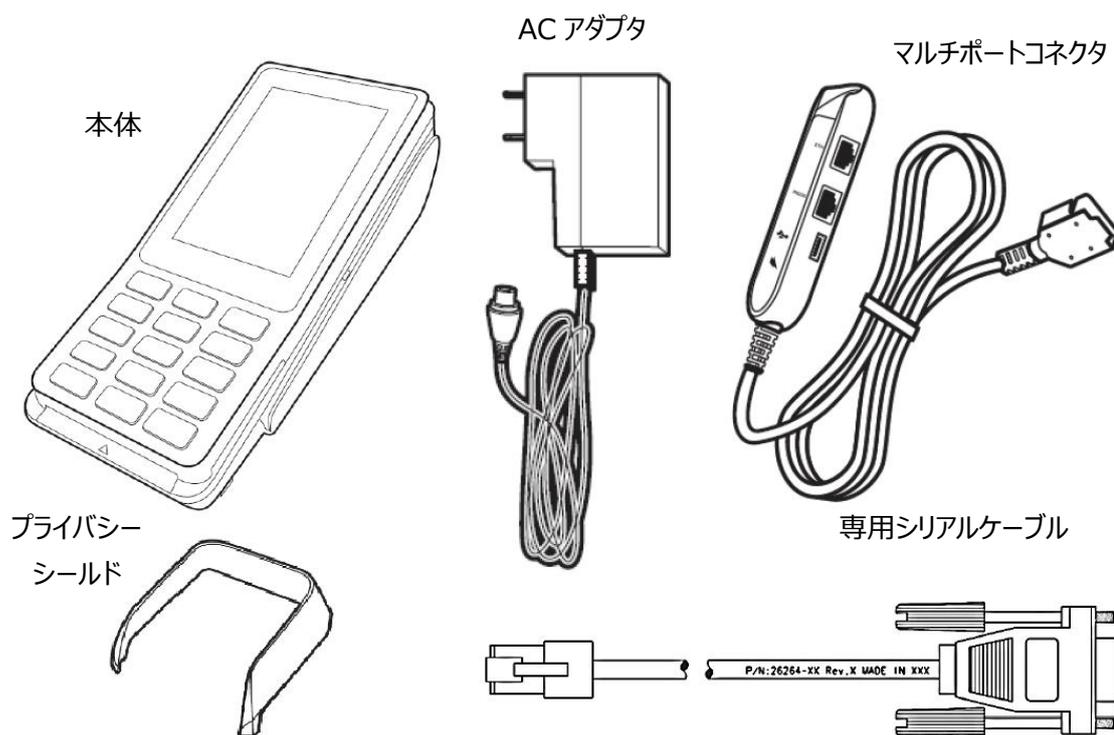


連結用ねじ
(M6x16) 4本

ラベル4種セット

①製品名 POP (モニター下) W240 x H32mm 角 R4mm		
キャッシュレス専用決済機		
②領収書 (プリンター排出口下) W34 x H12mm	③TOSEI ロゴ (モニター下部) W32xH10mm	④目隠しラベル (スキャナ上部) W15xH7mm
領収書	TOSEI	■

■ Vesca 社決済機 p400 一式



<事前準備>

事前に用意するツール類

- U S B 接続キーボード
- マウス (タッチパネルのため必須ではないですが、タッチパネル操作に不安がある方のみ用意)
- U S B メモリ (エビデンス結果取り出し用等)
- プラスドライバー (No.2、及び、精密)
- ソケットレンチ(筐体と置台接続ボルト締め用)
- L A N ケーブル
- アンカー取付工具 (ドリル、ハンマー等)

設定入力情報として以下データを準備

端末名称 (画面表示)、伝票印字メッセージ (全角 16 文字(半角 32 文字)以内 2 行分)
…… 店舗 (お客様) 側と相談して決める。

端末番号、店舗コード、API キー、シークレットキー
…… TOSEI 管理者から払出される。

スマレシ用企業コード、スマレシ用店舗コード
…… (株) 東芝テック社から指定される。

機械組立取付

1. キャッシュレス専用端末の取り付け準備

- (1) キャッシュレス専用端末の本体裏側カバー取り外し、
本体裏側 5カ所のネジを外し、カバーを外す。

本体内部裏側の状態



※タブレット (右側) に本体コンセント挿入済

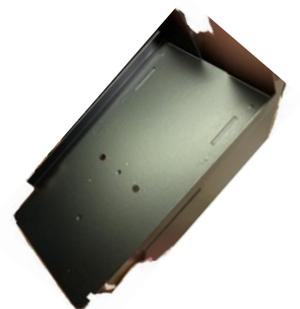
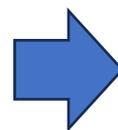
※スイッチング HUB (左側) に本体 LAN ケーブル挿入済

- (2) キャッシュレス専用端末の本体表側カバー取り外し、
4箇所ネジを外して枠を取り除く。(プリンタ部を引き出しておくと取り外し易いです。)



※P400 が付いた状態の図になっていますが、この時点では付いていません。

- (3) 決済機 p400 取付台座取り外し、
p400 取付台座下部を覗き込み、奥の 2本のネジを外し、台座を外しておきます。



2. 決済機 p400 のキャッシュレス端末接続

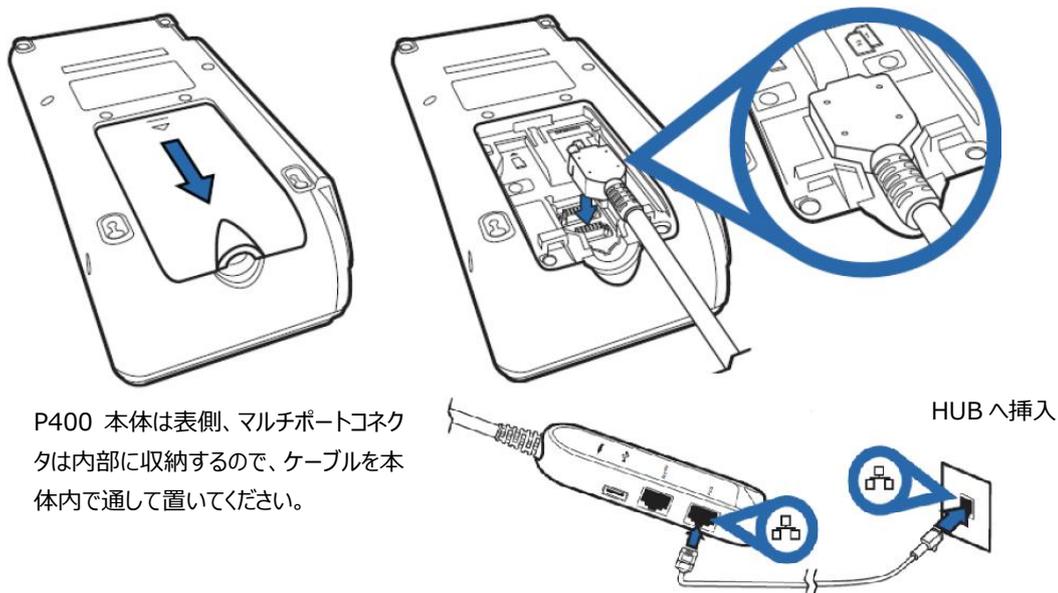
(4) LANケーブル接続

p400 本体背面カバーを開ける。(ネジ止めされています。)

本体背面にマルチポートコネクタを接続して、カバーを閉じる。(ネジ止める。)

LANケーブルをマルチポートコネクタの「Ethernet」と記載のあるポートに挿す。

反対側はキャッシュレス専用端末付属のスイッチング HUB の空きポートに挿す。

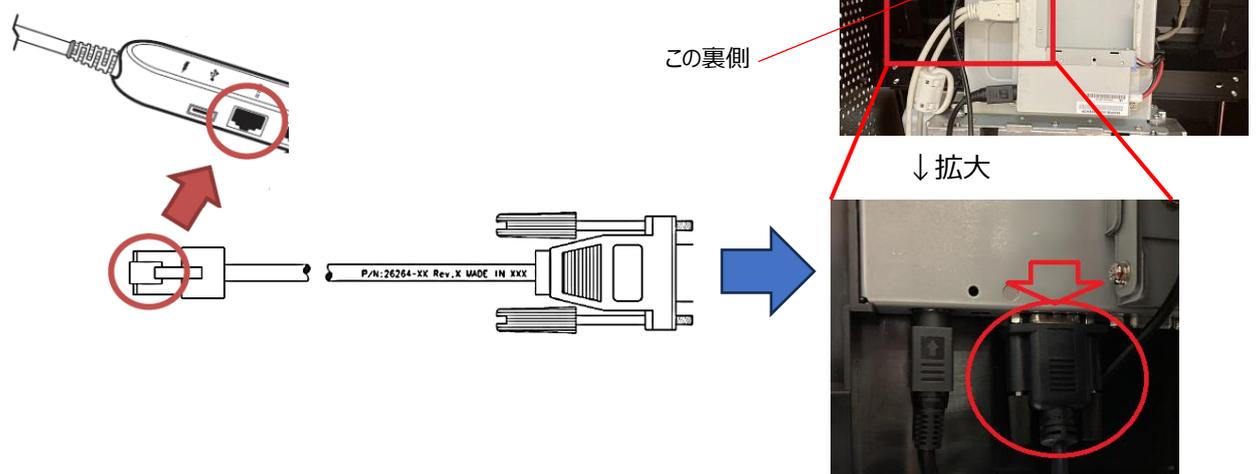


(5) キャッシュレス専用端末との接続

マルチポートコネクタに専用シリアルケーブルを接続する。

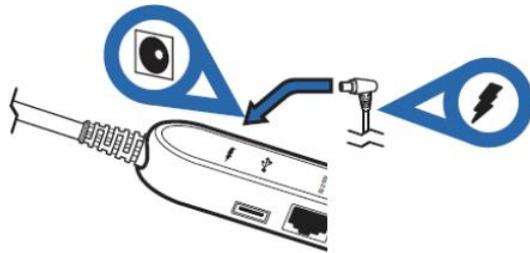
専用シリアルケーブルをキャッシュレス専用端末の

RS232C ポートに接続する。(タッチパネル画面下部)

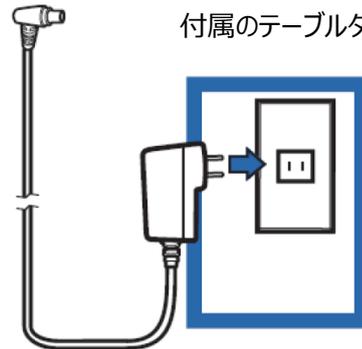


(6) 電源の接続

電源コードをマルチポートコネクタに接続する。
ACアダプタを電源（テーブルタップ）に接続する。



キャッシュレス専用端末内部
付属のテーブルタップへ



(7) プライバシーシールドの取付

プライバシーシールド（覗き見防止用）をテンキーの周りに取り付ける。
（p400 本体側面、底面にそれぞれ 2 箇所溝があるので、はめ込む。）

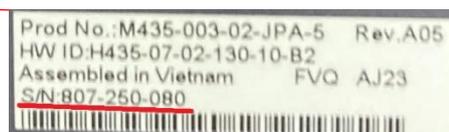


(8) 決済機 p400 のシリアル番号と MTID を控える。

p400 裏面



p400 上部



設置完了すると表記ラベルは見えない状態となるので、この時点で必ず控えて置く事

3. キャッシュレス専用端末への決済機 p400 取付

① p400 本体と 1. (3) で外した台座を合わせ、裏側から 2 本のネジで止める。



② 1. (3) の取り外しと逆に本体へ台座ごと取り付ける。



4. キャッシュレス端末台座取付

(9) キャッシュレス端末電源スイッチカバー開

電源 ON し易い様に電源蓋カバーを開けておきます。

下図はプリンタ引き出し口より覗き込んで見た状態です。



蓋カバーを閉じてしまうと電源スイッチを押せなくなります。また、蓋カバーを開けにくくなるので、開けておいた方が良いでしょう。

この時点で USB キーボードを USB ポートに取り付けしてください。

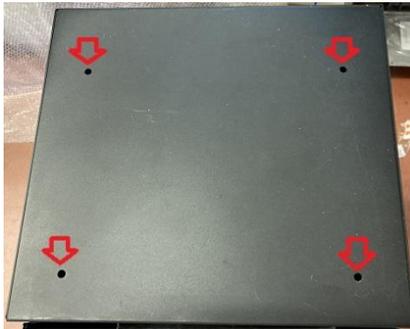


↓ 拡大

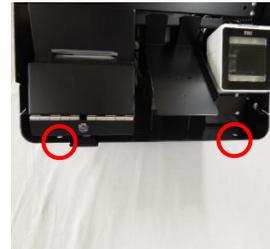


(10) 台座本体取付

筐体下部（台座）4箇所の穴の位置と、
本体上側の穴を合わせ前2箇所のみボルト締めする。



端末本体上側正面から前方2箇所
<止める>



端末本体上部裏側から後方2箇所
<止めない>



(11) ネットワーク（LAN）ケーブル取付

本体内部に付属のスイッチング HUB の空きポートへ LAN ケーブルを取り付ける。



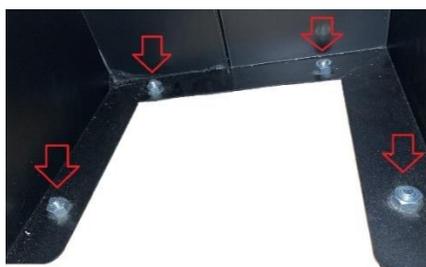
(12) 電源取付け、ネットワーク接続、キャッシュレス専用端末本体裏側カバーを取り付け、
ケーブル類を取り纏め、1. (2) で取り外しの逆順で裏面カバーを取り付けます。

テーブルタップからのコンセントを取り付け、LAN ケーブルを外部インターネットへ接続します。

なお、キャッシュレス専用端末表側枠については、電源スイッチの操作、USB ポートへのキーボード等の
接続の作業性から、すべての設定を終えた後に取り付けをした方が良い。

(13) 筐体アンカー取り付け

筐体下部にアンカー留めします。最低でも前後2箇所に斜め止め打ちしてください。



※アンカー打ちすると本体が移動できなくなり、
壁面に背面部を寄り添って本体設置すると、
本体背面のメンテナンスができなくなります。

キャッシュレス専用端末ソフト設定、決済機 p400 設定・動作確認手順

1. キャッシュレス専用端末電源投入

USB キーボードを接続してください。

キャッシュレス専用端末の電源スイッチを押して電源を入れます。



※コンセントを挿入すると直ぐに LCD パネル左下の LED が青く光ります。30 秒程待って一度消えてから電源スイッチを押してください。 その間に押しても電源は入りません。



決済機 p400 の電源が入り、その右側のバーコードスキャナが白く光ります。

また、プリンタの電源マークが点灯していることを確認してください。

(上記が反応しない場合、接続が外れている可能性があります)



Windows の初期セットアップに約 5 分程かかります。

途中でネットワーク接続設定の下記確認が画面上右側に出たら、「いいえ」を選択タッチしてください。



起動されるとソフトが自動起動し、下記画面になります。



2. 自動起動ソフト終了

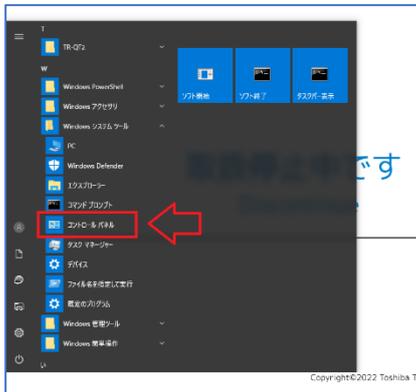
キーボードから Windows メニューを開き、「ソフト終了」アイコンをタッチし Windows デスクトップ画面にします。



3. キャッシュレス専用端末のコンピュータ名称の設定

(1) Windows コントロールパネル起動

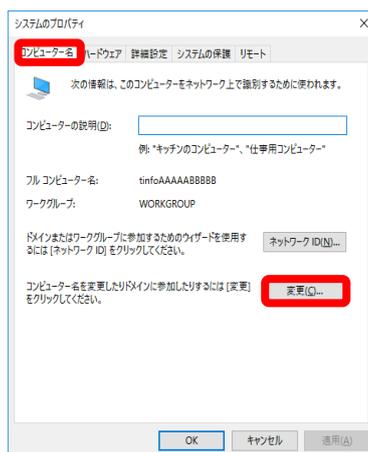
キーボードから Windows メニューを開き、「Windows システムツール」⇒「コントロールパネル」を起動します。



(2) コントロールパネルから [システム] → [設定の変更選択] してください。



(3) “システムのプロパティ”画面で [コンピュータ名] タブ選択、[変更(C)] 押してください。

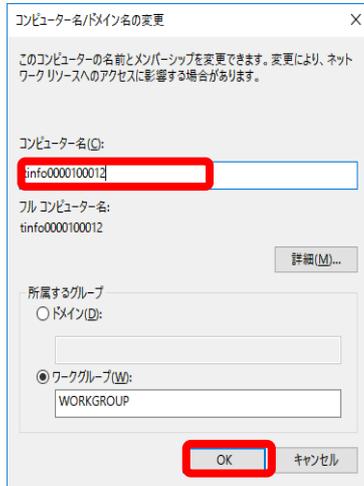


(4) “コンピュータ名(C)”のエリアをタッチして下記コンピュータ名を直接タイプ入力します。

tinfoAAAAABBBBBB : AAAA : グループ ID 、 BBBBB : 店舗コード

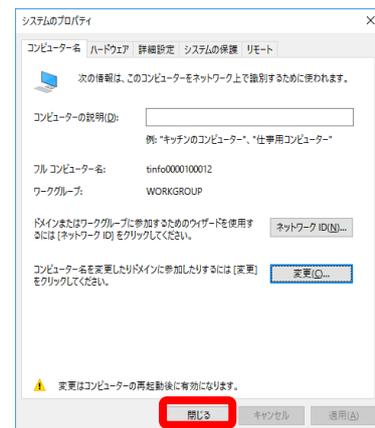
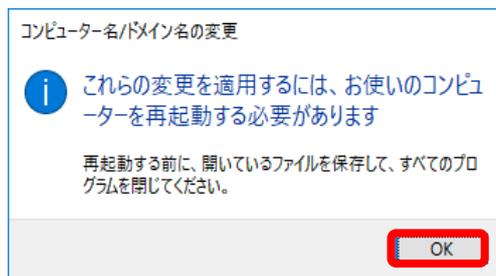
※それぞれ先頭 0 埋めして 5 桁固定

例 : グループ ID が“1”、店舗コードが“12”の場合 “tinfo0000100012”

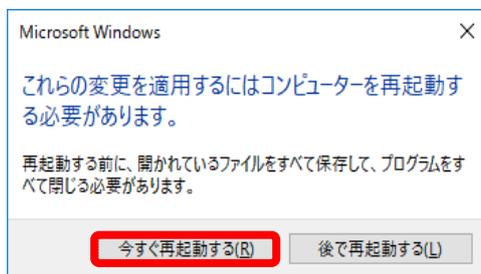


(5) [OK] 押し、“システムのプロパティ”画面に戻ったら [閉じる] を押します。

その間に、“コンピュータ名/ドメインの変更”POP-UP 画面が出たら [OK] 押します。



Windows 再起動確認画面で [今すぐ再起動する] 押して、端末を再起動してください。



再起動し終わったら、次の EVER/IP インストールへ進みます。

4. EVER/IP のインストール

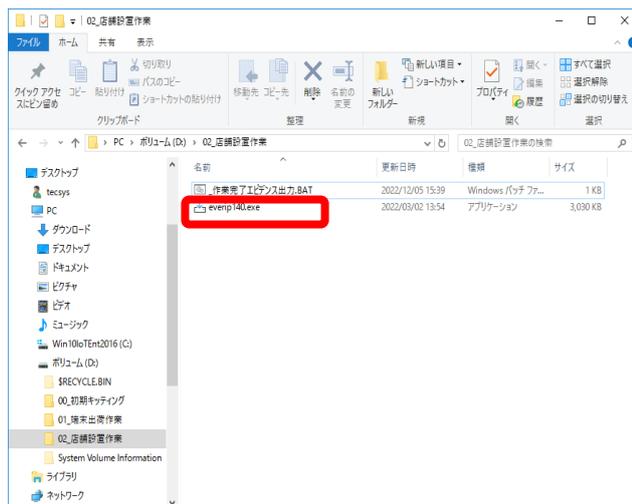
リモートメンテナンスを行えるようにするために、EVER/IP ソフトをインストールします。

「2. 自動起動ソフト終了」と同手順で、ソフトを終了した状態で行ってください。

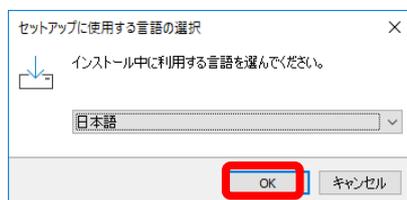
必ず、インターネットに接続できている状態で作業してください。

(できれば事前に Windows 設定：ネットワークの状態等で確認されると良い)

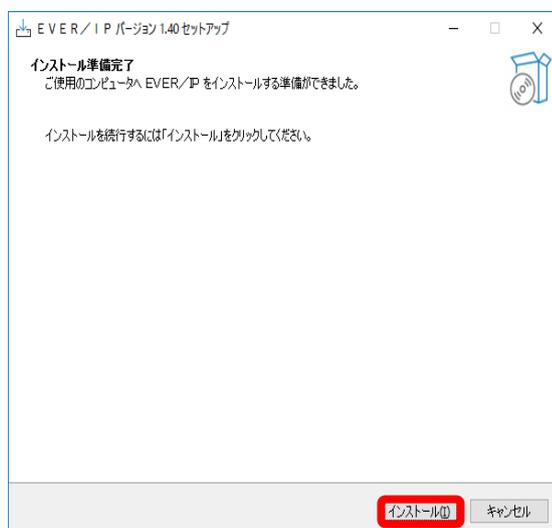
- ① エクスプローラ等から、D ドライブ直下の「02_店舗設置作業」フォルダ内の “everip140.exe” を起動します。



- ② 起動後、[OK] を選択します。



- ③ [インストール] を押します。

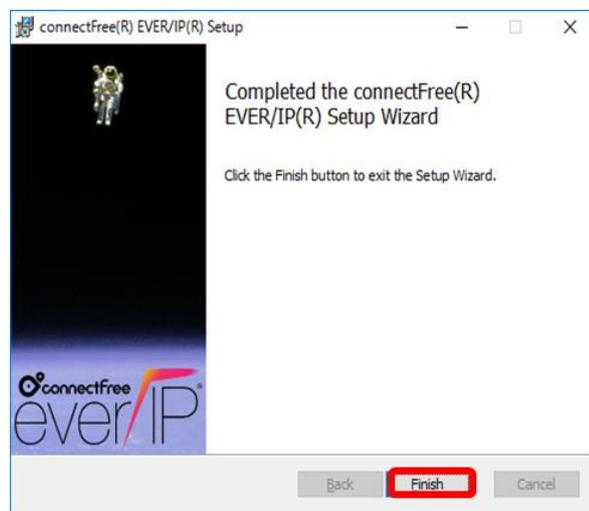


- ④ “チェックボックス”にチェックを入れて [Install] を押します。

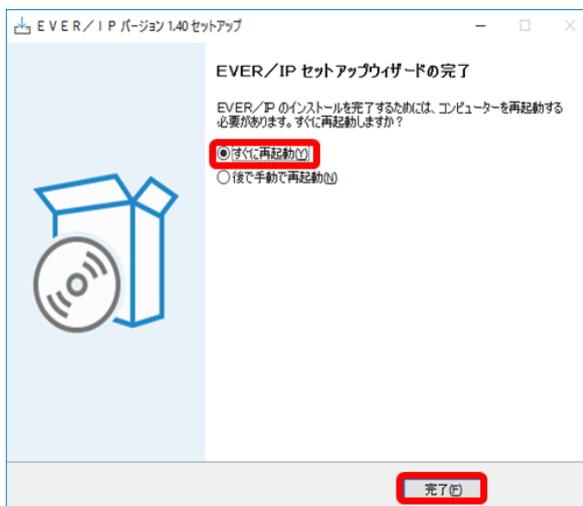


タッチしてチェックする。

- ⑤ [Finish] を押します。



- ⑥ “すぐに再起動”を選択し、[完了] を押すと再起動します。再起動完了で EVER/IP のインストールは終了です。



5. 決済機 p400 設定

決済機 p400 側の設定を行います。以下は、決済機 p400 での操作です。

(6) POS 連動モードの解除

- ① [0]キーと[<]キーを同時に押してください。

p400 のキー →



- ② 店舗パスワード“9999”を入力して、確定[○]ボタンを押してください。



- ③ POS 連動モードが解除されます。

(7) ネットワークへの接続方法確認

- ① POS 連動モードを解除し、メインメニューを表示させてください。
[保守]を選択してください。(または[2]キーを押してください。)



- ② 保守メニューが表示されます。[端末管理]を選択してください。
(または[5]キーを押してください。)



- ③ [ネットワーク]を選択してください。(または[3]キーを押してください。)



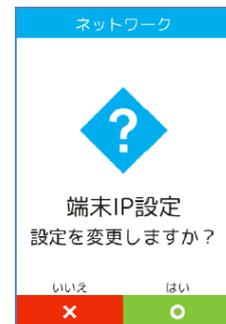
④ [端末 IP 設定] を選択してください。(または[1]キーを押してください。)



- ⑤ 現在のネットワーク設定が表示されます。
ここで IP 取得方法が“固定 IP”となっていて、“DHCP”となっていない場合は、次の [DHCP 設定] を実施します。
次へ[○]ボタンを押し、端末 IP 設定変更確認画面で、はい[○]ボタンを押してください。
“DHCP”となっている場合は“(3) 疎通確認”に進みますので 端末 IP 設定変更確認画面で、いいえ[x]ボタンを押してメニューに戻ります。



※固定 IP アドレスにする場合は Vesca 社発行の【P400】端末設置手順書を参照ください。

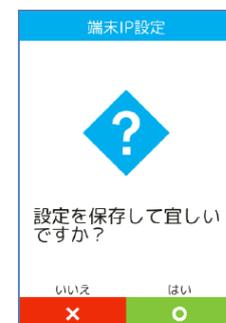


[DHCP 設定] ……DHCP 接続となっていなかった場合

① [DHCP]を選択してください。(または[1]キーを押してください。)



- ② はい[○]ボタンを押してください。
新しい設定が保存された後、端末が再起動します。



(8) 疎通確認

- ① POS 連動モードを解除し、メインメニューを表示させてください。
[保守]を選択してください。(または[2]キーを押してください。)



- ② 保守メニューが表示されます。
疎通確認を実施する業務アプリケーションを選択してください。
 - ・クレジット/銀聯/QR 決済
 - ・電子マネーは次の「(4) 電子マネー初期認証」後に実施してください。



- ③ それぞれの業務内の疎通確認を実施し、成功すれば完了画面が表示されます。
エラーが表示された場合は、店舗、端末のネットワーク設定や、回線の敷設状況を確認してください。

- ※ 本機能は、決済機と各種センター間との疎通を確認するためのものです。
- ※ キャッシュレス専用端末と決済機とのシリアル通信の疎通を確認するためには、キャッシュレス専用端末側の疎通確認を実行してください。



(9) 電子マネー初期認証

- ① POS 連動モードを解除し、メインメニューを表示させてください。
[保守]を選択してください。(または[2]キーを押してください。)



- ② 保守メニューが表示されます。[電子マネー]を選択してください。

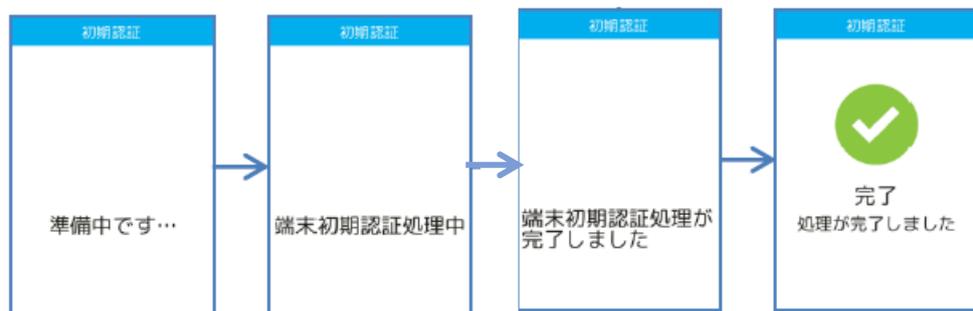


③ [初期認証]を選択してください。(または[1]キーを押してください。)



④ 管理パスワードを入力して、確定[○]ボタンを押してください。

⑤ 初期認証処理が実行されます。



(10) 端末再起動時刻の確認

① POS 連動モードを解除し、メインメニューを表示させてください。
[保守]を選択してください。(または[2]キーを押してください。)



② 保守メニューが表示されます。[端末管理]を選択してください。
(または[5]キーを押してください。)



- ③ 端末設定の画面が表示されます。[設定]を選択してください。
(または[5]キーを押してください。)



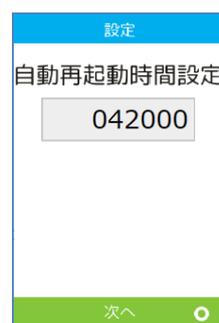
- ④ 店舗パスワード“9999”を入力して、確定[○]ボタンを押してください。



- ⑤ 設定画面が表示されます。
[自動更新設定]を選択してください。
(または[1]キーを押してください。)



- ⑥ 自動再起動時間設定値が表示されます。
表示上“042000”となっている事を確認してください。
・ 24 時間表記で時刻、分、秒 hhmmss) 表記します。
 (“042000”の場合、午前 4 時 20 分 00 秒となります。)
・もし“042000”となっていない場合にはベスカ社に修正を依頼してください。



- ⑦ 次へ[○]ボタンを押してメニューに戻ります。

(11) POS連動モードの開始

- ① 待受け画面下部に黒色の帯が表示されている場合は、スタンドアロンモード（非 POS 連動モード）で動作しています。
[○]ボタンを押してください。



"vesca"のロゴマークが表示されている

- ② [POS 連動]を選択してください。
(または[3]キーを押してください。)



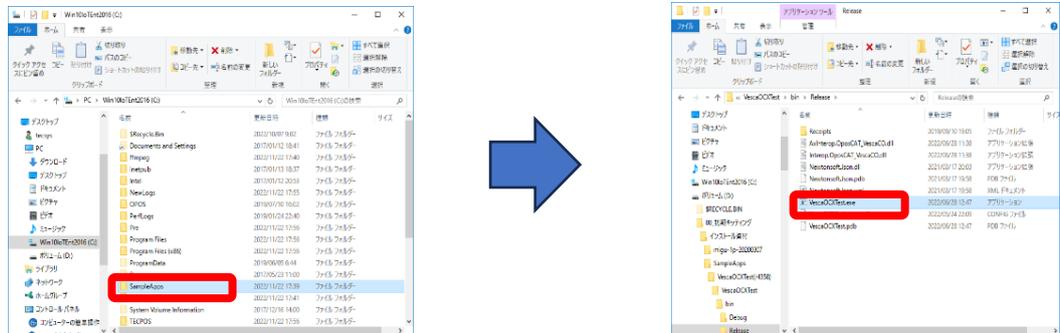
- ③ 待受け画面のみが表示されている（黒色の帯の表示が無い）場合は、POS 連動モードで動作しています。
(POS からの操作要求を受け付けることができる状態です。)



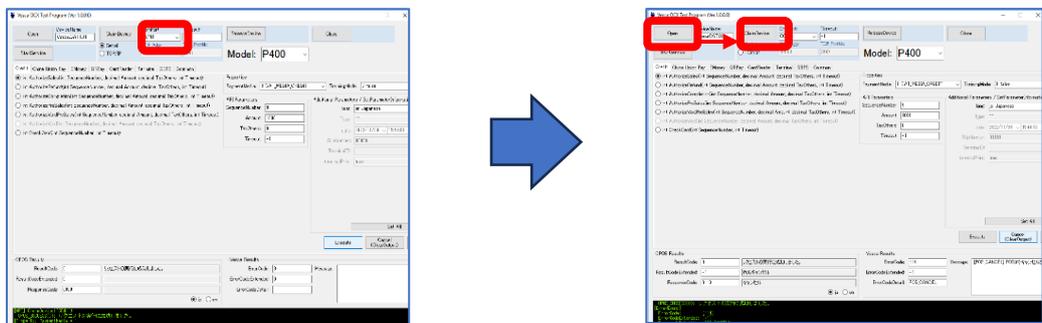
6. 決済機接続テスト

「2. 自動起動ソフト終了」と手順で、ソフトを終了した状態で行ってください。

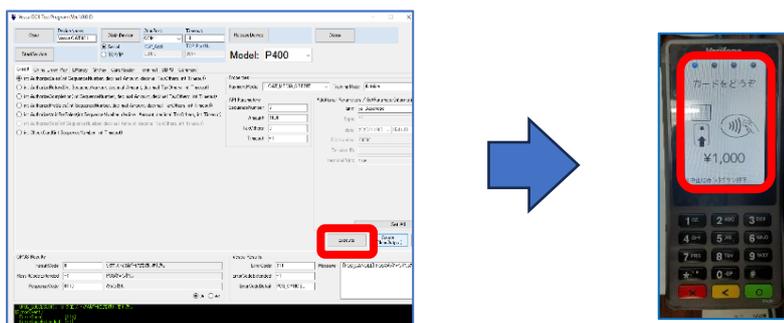
- ④ エクスプローラ等にて、「C:¥SampleApps」フォルダの「VescaOCXTest(r4358)¥VescaOCXTest¥bin¥Release」フォルダ内の「VescaOCXTest.exe」を実行します。



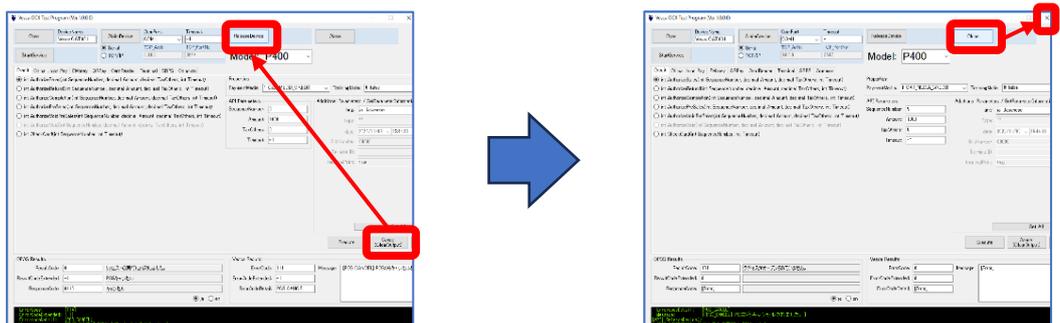
- ⑤ 「ComPort」が「COM1」になっていることを確認し、[Open] ボタンを押し、「ClaimDevice」ボタンを押します。



- ⑥ 「Execute」ボタンを押し、決済端末にクレジット決済画面が表示される事を確認します。



- ⑦ 「Cancel」ボタンを押し、「ReleaseDevice」ボタン、[Close] ボタンの順で押し、最後に [X] ボタンでアプリを終了します。



7. キャッシュレス専用端末のソフト設定

キャッシュレス専用端末の運用上のソフトウェア設定は、“設定.ini”ファイル（text ファイル）を編集する必要があります。“設定.ini”ファイルは“C:¥SelfApp¥”のフォルダに存在します。

編集は、キャッシュレス専用端末上で直接メモ帳等で編集する場合と、USB メモリ等で吸い上げて PC 上にてテキストエディタで編集し、キャッシュレス専用端末の同ファイルに戻す（上書きする）方法があります。

また、このように設定.ini ファイルはテキストエディタで直接編集することも可能ですが、設定ファイル更新ツール「ToseiConfigApp.exe」にて必要な項目のみ入力し編集が可能です。

テキストエディタ等で直接編集する場合には、一部入力項目にて、データを暗号化した状態で入手しなければならない事による煩雑さから、ここでは設定ファイル更新ツール「ToseiConfigApp.exe」を使用した設定方法のみ記載します。

あらかじめ編集を行う PC、もしくは、キャッシュレス端末に「ToseiConfigApp.exe」を入れて置いてください。
(PC 利用条件：Windows10 以降)

[設定ファイル更新ツールで編集する手順]

設定ファイル更新ツール「ToseiConfigApp.exe」を実行します。

(キャッシュレス専用端末では、デフォルトで“D:¥”直下にあります。)

① 編集する設定ファイルの選択

画面右上の「参照」ボタンを押すと、ファイル選択ダイアログが表示されるので、編集する設定ファイルを選択して「開く」ボタンを押します。

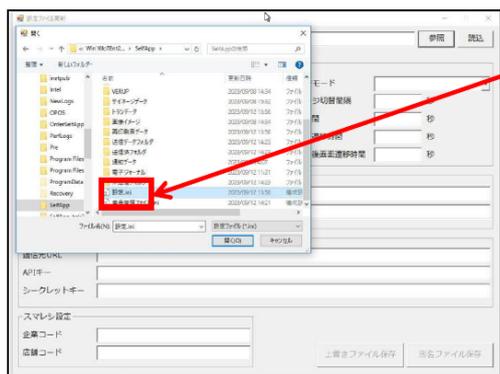
各自の PC 等で編集する場合は、あらかじめ USB メモリ等でキャッシュレス専用端末から“設定.ini”ファイルをコピーしておいて、そのファイルを指定します。
ファイルを選択すると、現在の設定値が表示されます。

設定ファイル更新ツール



「参照」を押下するとファイル選択ダイアログが表示されます。

ファイル選択ダイアログ



編集する「設定.ini」ファイルを選択します。

② 設定内容の編集

設定ファイルを選択すると現在の設定値が表示されますので、各項目の設定値を編集してください。
編集途中で「読み」ボタンを押すと、編集した設定値を廃棄し初期化します。

③ 設定値の編集が完了したら「上書きファイル保存」、または「別名ファイル保存」ボタンを押して編集した内容を保存します。

ファイルをキャッシュレス専用端末から持ち出して編集した場合には、キャッシュレス専用端末に正しく戻してください。

④ 再起動を行うことで、次回起動時から変更した設定内容でソフトが起動します。

Windows メニューより、再起動を行ってください。

<補足> 設定内容説明

変更可能な設定ファイル内のセクションは以下となります。

セクション	セクションで管理する主な設定内容
端末設定	画面に表示する店舗名やランドリーDX WebAPIに送信する店舗コード、サインージを表示する時間などの動作設定を管理します。
伝票設定	領収証や未了確認書、預かり書に印字する内容を管理します。
スマレシ設定	スマートレシートに連携するための設定情報を管理します。
基幹連携	ランドリーDX WebAPIに接続するための設定情報を管理します。

上記以外のセクションについては編集しないでください。

また、以下に各セクションの設定項目の詳細を掲示します。

① 端末設定セクション

端末設定セクションでは、画面に表示する店舗名やランドリーDX WebAPI に送信する店舗コード、サインージを表示する時間などの動作設定を行えます。設定できる項目は下記の通りです。

設定名	設定例	説明
端末番号	001	領収書や未了確認書、預かり書に印字されます。1店舗に数台設定する場合はそれぞれ異なる番号を設定してください。
店舗コード	01170	ランドリーDX WebAPIに送信する店舗コード、および、デジタルサインージファイルの取得先として使用します。先頭0埋め5桁で設定してください。
グループID	99999	デジタルサインージファイルの取得先として使用します。先頭0埋め5桁で設定してください。
管理パスワード	5963	管理画面のログインパスワードとして使用します。変更しないこと。
待ち受け画像切替間隔(秒) (0~999)	10	デジタルサインージ画像1ファイルの表示時間として使用します。動画の場合は本設定値は使用せず、最初から最後まで再生した後、次のサインージファイルに切り替わります。
無操作時間(秒) (0~999)	60	無操作状態でデジタルサインージ画面を表示するまでの秒数として使用します。
初期画面遷移時間(秒) (0~999)	240	デジタルサインージ画面を表示してからQRコード画面に遷移する時間として使用します。
運転完了後画面遷移時間(秒) (0~999)	40	決済完了後の運転開始画面表示から自動的にQRコード画面に遷移するまでの秒数として使用します。
端末名称 (全角16(半角32)文字)	Laundry伊豆の 国店	画面右上に表示されます。
端末動作モード	2	設定内容によって下記のモードで動作します。 0：端末決済不可＋アプリ連携有り(ステップ①) 1：端末決済可＋アプリ連携無し(ステップ②) 2：端末決済可＋アプリ連携有り(ステップ②)

※上記以外編集しないこと

② 伝票設定セクション

伝票設定セクションでは、領収証や未了確認書、預かり書に印字する内容を設定できます。設定できる項目は下記の通りです。

設定名	設定例	説明
□□下メッセージ1行目 (全角16(半角32)文字)	Laundry伊豆の 国店	領収書や未了確認書、預かり書に店舗名として印字されます。
□□下メッセージ2行目 (全角16(半角32)文字)	Tel.1234567890	未了確認書や預かり書の連絡先電話番号として印字されます。

※上記以外編集しないこと

③ スマレシ設定セクション

スマレシ設定セクションでは、スマートレシートに連携するための情報を設定できます。
設定できる項目は下記の通りです。

設定名	設定例	説明
企業コード	1234567890	スマートレシートサーバに送信するスマートレシート企業コードとして使用します。
店舗コード	123456	スマートレシートサーバに送信するsjスマートレシート店舗コードとして使用します。

※上記以外編集しないこと

④ 基幹連携セクション

基幹連携セクションでは、ランドリーDX WebAPI に接続するための情報を設定できます。
設定できる項目は下記の通りです。

<注意> 設定データ値は、ファイル上には暗号化された文字列を入れる必要があります。

テキストエディタ等でコピー＆ペーストする場合、データが暗号化されたものであることに注意してください。

(ToseiConfigApp.exe を利用する場合は平文のままコピー＆ペーストし、保存すれば自動的に暗号化されます。)

設定名	設定例	説明
通信先URL	Y6hX8PMbJIKevLwzdjuVj a1BpdpQSYCiSNBCYnRfn Z/D7cIMfbBCN2m/48HzI krL	ランドリーDX WebAPIの接続先として使用します。「 https:// 」から始まるスキームを含め、末尾の「v1/」などのスラッシュを含んだ接続先を暗号化してください。
APIキー	3/Y4KCvEuODyYZBHQ5fr BTIo6MXgPtIvTzO972Pg 13mFvwwm6EKLbxfMZw 4wofk5	ランドリーDX WebAPIに送信するAPIキーとして使用します。 暗号化した文字列を設定してください。
シークレットキー	9uKrMnKFo+bFE/6bzku+ AbwZnbDQBxgATQoeyS aX59y46g+sIHWy3pqPZf FnbMxp1DZ7ytmf6uvVcX wJaL35g==	ランドリーDX WebAPIに送信するシークレットキーとして使用します。 暗号化した文字列を設定してください。

※上記以外編集しないこと

8. キャッシュレス専用端末での決済動作確認・周辺機器動作確認

(12) 決済機動作確認

- ① Windows メニューから OS 再起動を行い、業務開始画面で「業務開始」ボタンをタッチします。

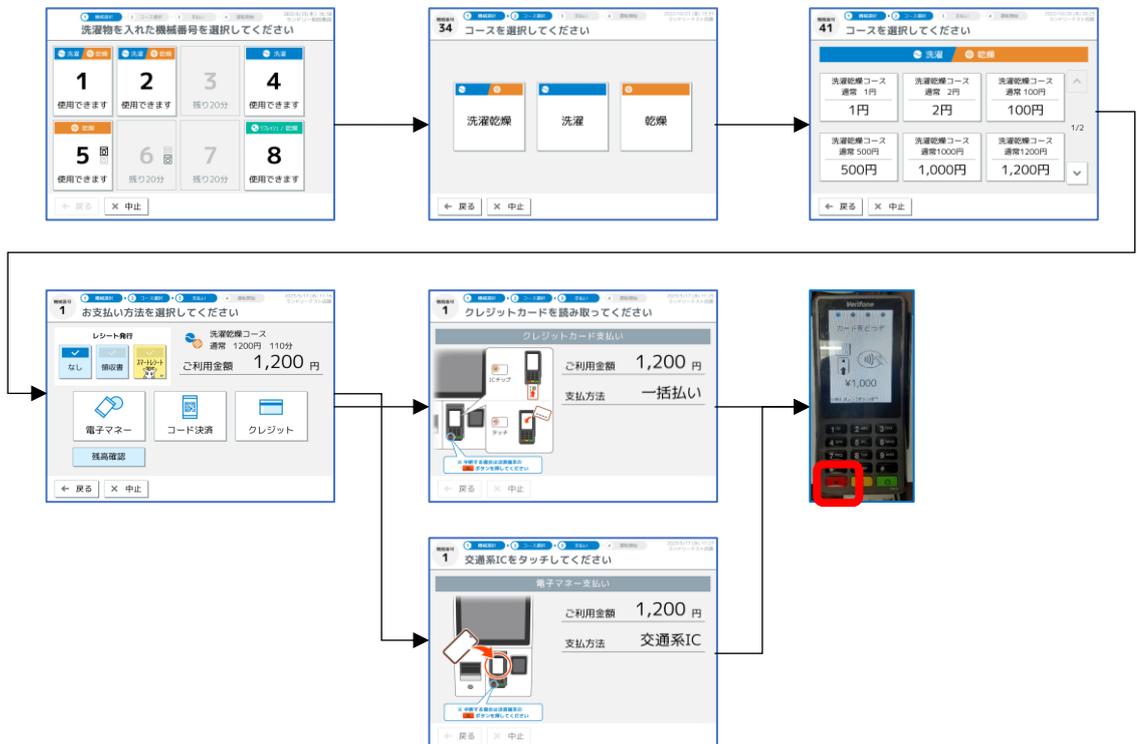


- ② QR コード画面が表示され、業務を開始できる状態となります。



※実際のランドリー-DX 用 QR コードでは「仮」の文字は入りません。

- ③ 機械選択からコース選択を行い、お支払い方法選択から決済機へ連動できることを確認します。



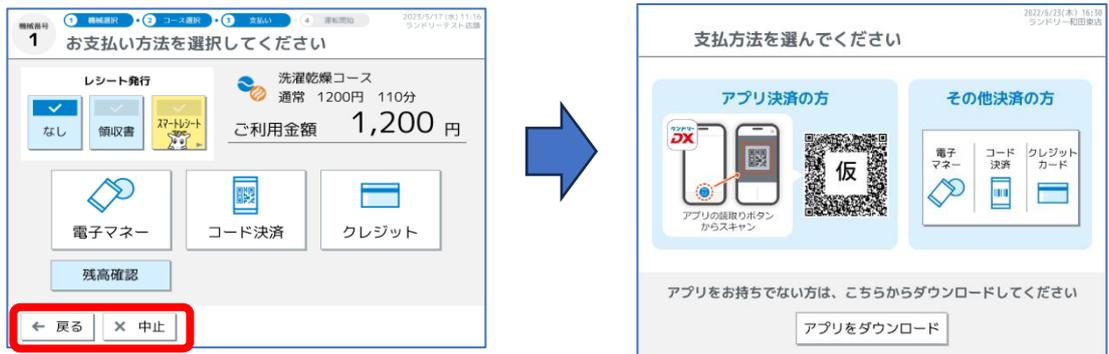
※クレジット、または、電子マネー選択で、決済機 p400 への連動が発生するか確認してください。

連動後、p400 の「×」ボタンを押して決済をキャンセルしてください。

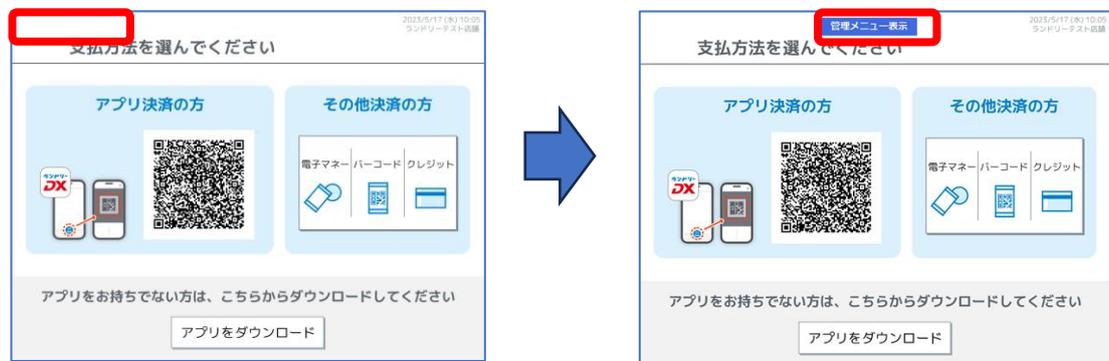
※バーコード決済の場合はスキャナで読み取り後、決済機 p400 側でキャンセルはできませんので、選択しないでください。

(13) プリント動作確認

- ① 画面がQRコード表示画面でない（下図の右画面でない）場合、[戻る]または[中止]ボタンをタッチしてQRコード表示画面を表示します。



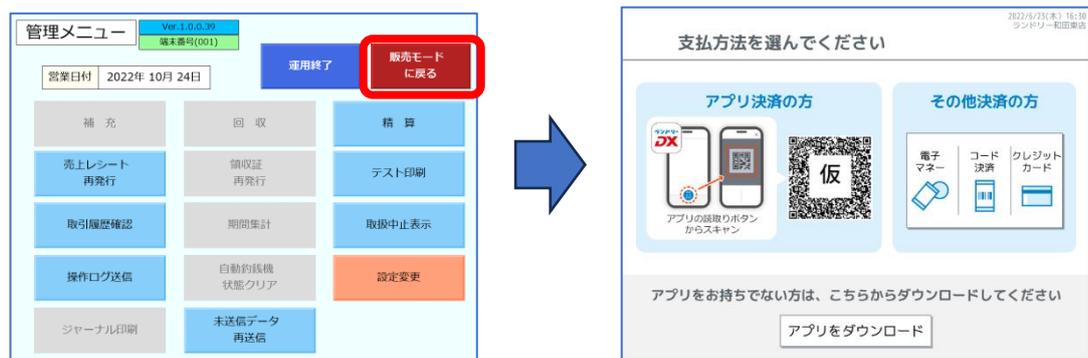
- ② QRコード表示画面の左上を長押し（2～3秒）し、[管理メニュー表示]ボタンをタッチして管理機能にログインします。



- ③ [テスト印刷]ボタンをタッチして、プリンタからレシートが印刷されることを確認します。

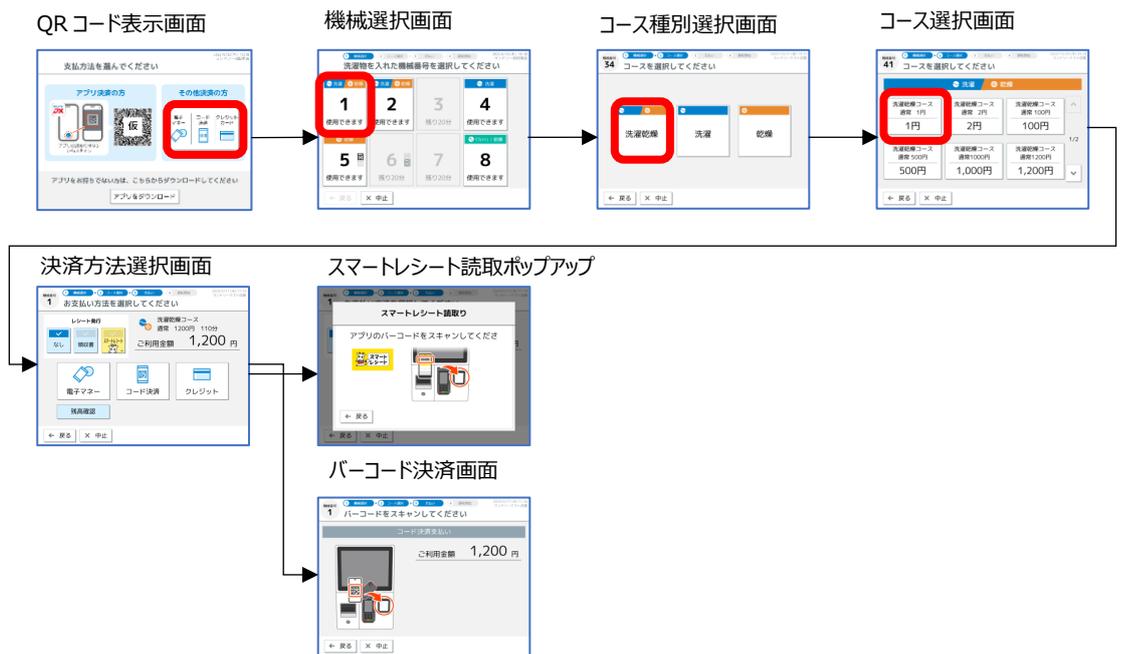


- ④ [販売モードに戻る]ボタンをタッチしてQRコード表示画面に戻ります。



(14) スキャナ動作確認

① QRコード表示画面から任意の洗濯機やコースを選択して決済方法選択画面まで遷移します。



② スマートレシートのバーコードを読み取る場合は[スマートレシート]ボタンを、QRコード決済用のバーコードを読み取る場合は[コード決済]ボタンをタッチします。

それぞれ、画面の案内に従ってバーコードをスキャナにかざして読み取りを行ってください。

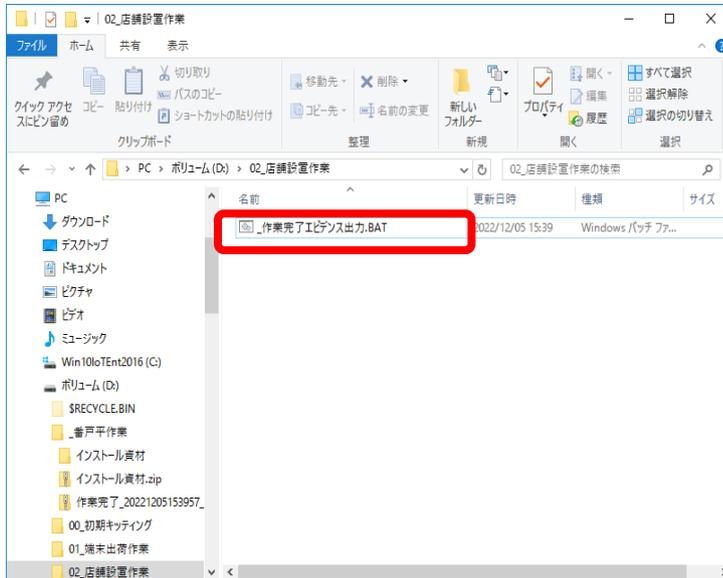
※ コード決済を選択された場合、実際に引取りが発生し洗濯機の運転が開始します。



9. エビデンス情報取得

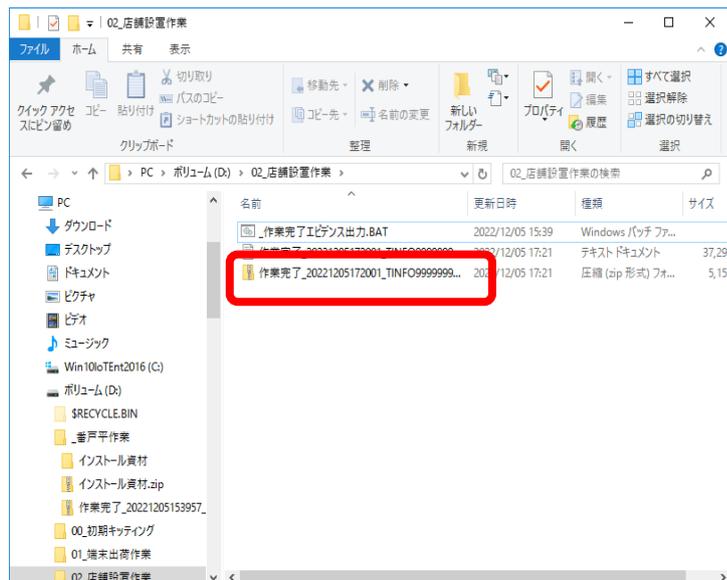
本手順で出力したファイルには、店舗コードやリモート接続情報など運用に必要な情報が出力されます。
必ず本手順を実行してください。

- ③ 「D:¥02_店舗設置作業」フォルダを表示し、「_作業完了エビデンス出力.BAT」をダブルクリックして実行します。



※処理完了まで2～3分掛かります。

- ④ 処理が終了すると「02_店舗設置作業」フォルダ内に「作業完了_(日時)_(コンピュータ名).ZIP」ファイルが作成されるので、USBメモリ等で取得します。
取得したデータはTOSEI管理者へ共有してください。
(TOSEI管理者から関連者へ配布共有されます。)



最後にソフトを終了させて、電源OFFし、再度電源ONすれば全て終了です。
USBキーボードを外し、表面パネル枠を外して有る場合にはもとに戻してください。

お客様の操作方法

1. 情報端末の起動

1.1 起動方法

Step 1 情報端末を起動する。

情報端末は常時電源 ON の状態となります。

お客様が来店された際は下記の画面が表示されていますので、そのまま操作が可能です。

[デジタルサイネージ画面]



[QRコード画面]



上記の画面以外が表示されている場合、[中止]ボタンをタッチして QR コード画面から操作を行ってください。



[中止]ボタンをタッチすることで最初から操作を行えます。

[補足事項] 画面が正しく表示されていない場合

「画面が真っ暗になっている」「取扱停止中の文言が表示されている」

「エラーダイアログが表示されている」などの場合、何らかのシステム異常が発生しています。

この場合、サポートデスクまでお問い合わせいただき、システムの復旧作業を行う必要があります。

2. 情報機器の操作

2.1 洗濯物の投入

Step 1 お持ちの洗濯物をランドリー機器に投入する。

情報端末を操作する前に、お持ちの洗濯物をランドリー機器に投入してください。

スマホアプリ「ランドリー-DX」、または、情報端末の操作では、投入したランドリー機器の機器番号を選択して運転を開始します。

洗濯物を投入したランドリー機器の機器番号を確認してから情報端末の操作を行ってください。

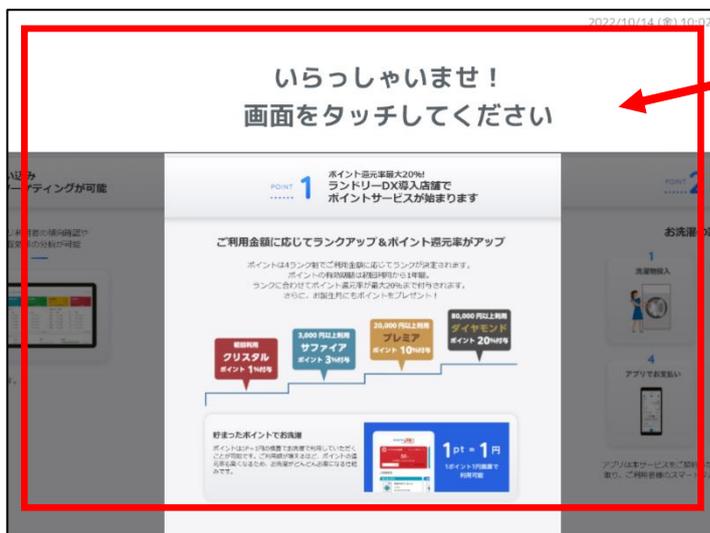
2.2 デジタルサイネージ表示の解除

Step 2 デジタルサイネージの表示を解除する。

情報端末の無操作状態が続くと、自動的にデジタルサイネージを表示する本画面を表示します。

本画面では画面のどこかをタッチすることで、次の QR コード表示画面に移動します。

[デジタルサイネージ画面]



画面のどこかをタッチしてください。
QRコード画面へと進みます。

2.3 ランドリー機器操作方法の選択

Step 3 操作方法を選択する。

本画面では、ランドリー機器の操作方法を選択します。

ランドリー機器の操作方法是、次の2つの方法があります。

- ① スマホアプリ「ランドリー-DX」で操作する。
- ② 情報端末で操作する。

スマホアプリ「ランドリー-DX」で操作する場合は、「ランドリー-DX」を起動して読み取りボタンをタッチした後、情報端末に表示されているQRコードを読み取ってください。その後は、「ランドリー-DX」アプリの画面に従って操作を行ってください。

情報端末で操作する場合は、その他決済の方のボタンをタッチすることで、次の機器選択画面に移動します。

[QRコード画面]



「ランドリー-DX」を使用する場合、アプリ起動してQRコードを読み取ってください。

情報端末で操作する場合、こちらのボタンをタッチしてください。

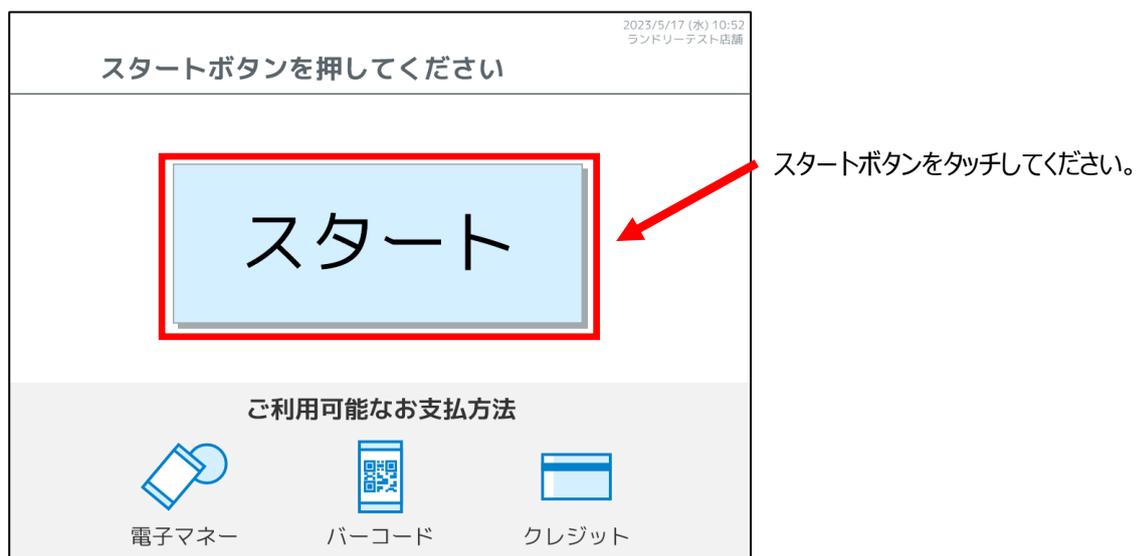
「ランドリー-DX」を新規にインストールする場合、[アプリをダウンロード]ボタンをタッチしてください。

[補足事項] ポイント付与について

「ランドリー-DX」を使用してランドリー機器を操作した場合、お支払金額に応じてポイントが付与されます。「ランドリー-DX」アプリを使用せず、情報端末で操作した場合でも、運転開始画面に表示されるQRコードを「ランドリー-DX」で読み取ることでポイントが付与されます。

システム設定により、ランドリーDX アプリ連携無しモードで動作している場合、QRコード画面の表示は下記ようになります。
「ランドリーDX」アプリで読み取るためのQRコードは表示されず、情報端末を操作するスタートボタンのみが表示されます。
また、この場合、アプリをダウンロードボタンも表示されません。

[QRコード画面] ※ランドリーDX アプリ連携無しモード時



2.4 ランドリー機器の選択

Step 4 操作する機器を選択する。

本画面では、操作するランドリー機器を選択します。

画面に操作できるランドリー機器の機器番号ボタンが表示されますので、洗濯物を投入したランドリー機器の機器番号ボタンをタッチしてください。

機器番号ボタンをタッチすると、次のコース種別選択画面へ移動します。

[機器選択画面]



ランドリー機器の一覧が表示されます。
洗濯物を投入した機器の機器番号ボタンを
タッチしてください。



台数が多い店舗の場合、ページ切替ボタンが
表示されます。前ページ／次ページを
表示する場合は、こちらのボタンをタッチしてください。

中止ボタンをタッチすると、QRコード画面に戻ります。

[補足事項] 画面に表示される機器番号ボタンの数

店舗に導入されているランドリー機器の台数に応じて、機器番号ボタンの大きさと表示数が自動的に設定されます。

ランドリー機器を選択すると、下記のような確認ポップアップが表示されます。

ランドリー機器の番号、または、ドアが開いていないことを確認してボタンをタッチしてください。

表示される機器番号と洗濯物を投入したランドリー機器の番号が異なる場合は[戻る]ボタンをタッチしてください。

[機器番号確認]

[ドア開き確認]



洗濯物を投入したランドリー機器の番号と同じ場合はボタンをタッチしてください。



ドアを閉めてからボタンをタッチしてください。

2.5 コース種別の選択

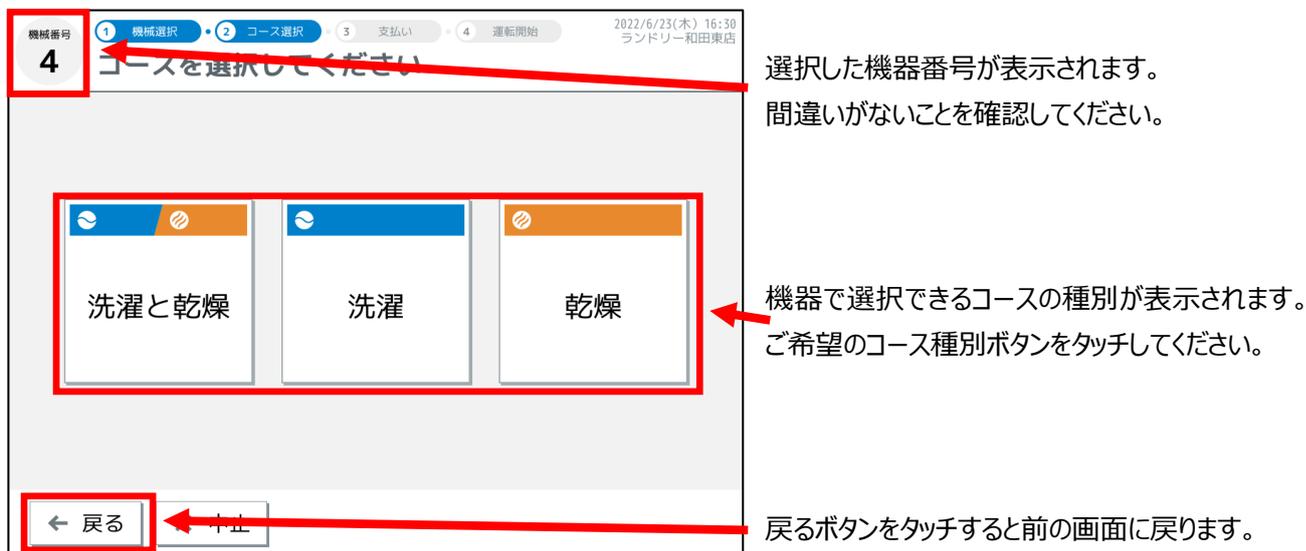
Step 5 洗濯するコースの種別を選択する。

本画面では、洗濯するコースの種別を選択します。

種別は「洗濯と乾燥」「洗濯」「乾燥」の3つから選択できます。

ご希望の種別のボタンをタッチすると、次のコース選択画面へ移動します。

[コース種別選択画面]



[補足事項] コース種別が表示されないケース

選択したランドリー機器が対応しているコース種別が1つだけの場合、本画面をスキップして自動的にコース選択画面へ移動します。

例えば、ランドリー機器が乾燥のみ対応の機器だった場合、本画面は表示されません。

機器選択画面で機器ボタンをタッチした後、本画面をスキップして、コース選択画面が表示されます。

[補足事項] 中止ボタンと戻るボタン

中止ボタンをタッチすると、機器選択画面と同様に QR コード画面へ移動します。

戻るボタンをタッチすると、1つ前の画面へ移動します。

これは、全ての画面で同じ動作となります。

2.6 コースの選択

Step 6 洗濯するコースを選択する。

本画面では、洗濯するコースを選択します。

前の画面で選択した種別のコースボタンが表示されますので、ご希望のコースボタンをタッチします。

コースボタンをタッチすると、次の決済方法選択画面へ移動します。

[コース選択画面]

機番番号 1 機械選択 2 コース選択 3 支払い 4 運転開始 2022/6/23(木) 16:30
ランドリー和田東店

4 コースを選択してください

洗濯 乾燥

標準 60分 1,300円	プレミアム洗剤 60分 1,400円	羽毛ふとんコース 70分 1,500円
少量 50分 1,100円	プレミアム柔軟剤 60分 1,400円	

← 戻る × 中止

選択した種別が表示されます。
間違いがないことを確認してください。

選択した種別のコース一覧が表示されます。
ご希望のコースボタンをタッチしてください。

機番番号 1 機械選択 2 コース選択 3 支払い 4 運転開始 2022/6/23(木) 16:30
ランドリー和田東店

4 コースを選択してください

乾燥

10分 100円	20分 200円	30分 300円
40分 400円	99分 500円	60分 600円
70分 700円	80分 800円	90分 900円

← 戻る × 中止

2.7 お支払方法の選択

Step 7 お支払方法を選択する。

本画面では、お支払の方法を選択します。

前の画面で選択したコースや金額に間違いがないかを確認した後、お支払する方法のボタンをタッチします。

クレジットカード、または、バーコード支払いの場合は決済画面へ、

電子マネーの場合は電子マネー選択画面へ移動します。

領収書の発行を希望される場合は領収書ボタンを、スマートレシート連携を希望される場合は

スマートレシートボタンをタッチしてください。

電子マネーの残高を確認される場合は、残高確認欄の電子マネーボタンをタッチしてください。

[決済方法選択画面]



選択したコースと所要時間、金額が表示されます。間違いがないことを確認してください。

希望されるお支払方法のボタンをタッチしてください。

電子マネーの残高を確認する場合は [残高確認] ボタンをタッチしてください。

領収書の印刷を希望される場合は [領収書] ボタンを、スマホアプリ「スマートレシート」への連携を希望される場合は、[スマートレシート] ボタンをタッチしてください。

[補足事項] 領収書の発行について

本画面で領収書受け取りの選択を行わなかった場合、運転開始画面でも領収書印刷を選択できます。

また、領収書を選択せずにスマートレシート連携を選択した場合も同様に、運転開始画面で領収書の印刷が選択できます。

この場合、領収書は再印刷レシートとして印刷されます。

2.8 スマートレシート連携

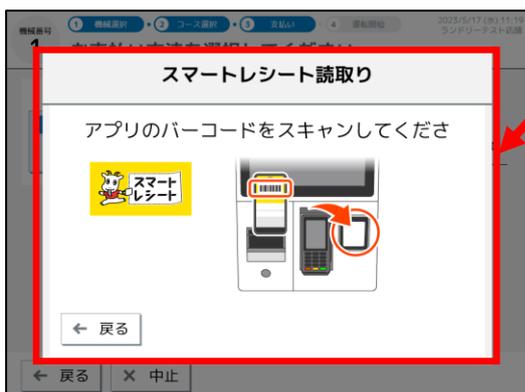
Step 8 スマートレシートのバーコードをスキャンする。

本画面は、お支払方法選択画面でスマートレシートボタンをタッチすると表示されます。

スマホアプリ「スマートレシート」を起動して画面にバーコードを表示した後、情報端末画面の案内に従って付属のスキヤナにスマートレシートバーコードをかざしてください。

スキャンが完了すると、自動的にお支払方法選択画面へ移動します。

[スマートレシートバーコードスキャン画面]



画面に操作案内が表示されます。

「スマートレシート」アプリを起動して、アプリ画面に表示されたバーコードをスキヤナに読み込ませてください。

バーコードのスキャンが完了すると、読み取り完了の表示に変わります。

[閉じる]ボタンをタッチするとお支払方法選択画面へ移動します。

タッチしない場合でも自動的にお支払方法選択画面へ移動します。



[閉じる]ボタンをタッチしてください。

お支払方法選択画面へ移動します。

2.9 電子マネー残高確認

Step 9 残高を確認する電子マネーのブランドを選択する。

本画面は、お支払方法選択画面で[残高確認]ボタンをタッチすると表示されます。
お支払したい電子マネーのブランドボタンをタッチすると、お支払画面へ移動します。

[残高確認ブランド選択画面]



残高を確認する電子マネーの
ブランドボタンをタッチしてください。

案内に従って選択した電子マネーをかざしてください。電子マネーの読み取りが完了すると、画面に残高を表示します。
残高確認後は、[支払選択に戻る]ボタンをタッチしてください。



[支払選択に戻る]ボタンをタッチすると、
お支払方法選択画面へ移動します。

2.10 電子マネーブランドの選択

Step 10 お支払する電子マネーのブランドを選択する。

本画面は、お支払方法選択画面で電子マネーボタンをタッチすると表示されます。
お支払したい電子マネーのブランドボタンをタッチすると、お支払画面へ移動します。

[電子マネーブランド選択画面]



お支払する電子マネーのブランドボタンを
タッチしてください。

2.11 お支払

Step 11 お支払を行う。

本画面は、お支払方法選択画面でクレジット、または、バーコード支払いを選択した場合、また、電子マネーブランド選択画面でブランドボタンを選択した場合に表示されます。
お支払方法に応じて、画面に操作案内が表示されます。案内に従ってお支払を行ってください。

[クレジット支払い画面]

[バーコード支払い画面]

[電子マネー支払い画面]



選択したお支払方法に応じて、操作案内が表示されます。
画面の案内に従って、お支払を行ってください。

- ※ お支払を行う際、決済端末の画面が以下の待機画面になっていることをご確認の上、お支払操作を行ってください。
違う画面が表示されている場合は、前の取引が残っている場合があります。
決済端末の「×」ボタンを押下して取消してからもう一度お支払いを行ってください。



2.12 お支払完了

Step 12 お支払が完了し機器の運転が開始します。

本画面は、お支払が完了すると表示されます。

QRコードが表示され「ランドリーDX」でQRコードを読み取ると、お支払金額に応じてポイントが付与されます。

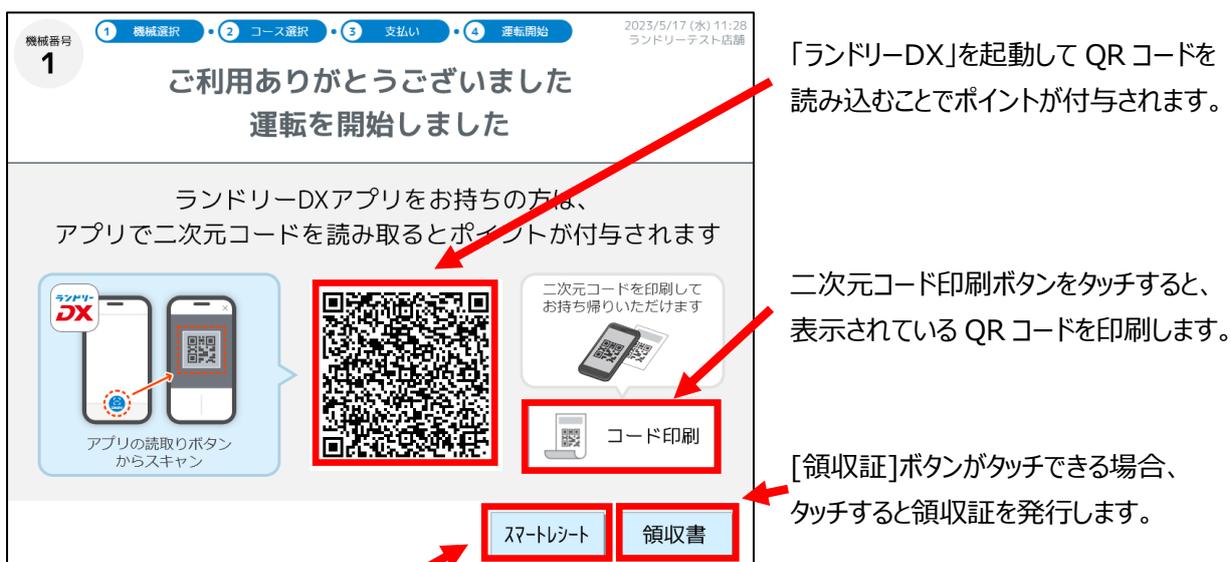
また、二次元コード印刷ボタンをタッチすることで、QRコードを紙に印刷します。

お支払方法選択画面の料金明細発行の選択状況によって、[スマートレシート]ボタンおよび[領収書]ボタンの表示が異なります。[領収書]ボタンをタッチすることで、領収書の印刷が行え、

[スマートレシート]ボタンをタッチすることで、スマートレシート連携ポップアップが表示されます。

本画面は一定時間経過すると自動的にQRコード画面に移動します。

[運転開始画面]



[スマートレシート] ボタンがタッチできる場合、ボタンをタッチするとスマートレシート連携ポップアップが表示されます。

領収書発行を行った場合、下記のようなレシートが印刷されます。



システム設定により、ランドリーDX アプリ連携無しモードで動作している場合、
運転開始画面の表示は下記ようになります。
「ランドリーDX」アプリで読み取るポイント付与用 QR コードは表示されません。

[運転開始画面] ※ランドリーDX アプリ連携無しモード時



[領収証]ボタンがタッチできる場合、
タッチすると領収証を発行します。

[スマートシート]ボタンがタッチできる場合、ボタンをタッチすると
スマートシート連携ポップアップが表示されます。

3. システムメンテナンスについて

毎日 AM3:55～AM4:25 の間、システムメンテナンスのため情報端末を使用したランドリー機器の操作は行えません。
メンテナンス中は「ランドリー-DX」をご使用ください。

3.1 メンテナンス通知 (AM3:30～)



AM3:30 以降、QR コード画面にメンテナンスを通知するメッセージが表示されます。
この状態では、通常通り操作が可能です。

3.2 メンテナンス開始 (AM3:55～)



AM3:55 以降、QR コード画面の操作ボタンがタッチできなくなります。
「ランドリー-DX」で読み込むための QR コードは表示されますので、「ランドリー-DX」を使用して
ランドリー機器の操作を行ってください。

3.3 システム起動 (AM4:20～)



AM4:20 頃から取扱停止中となった後、システムが起動します。

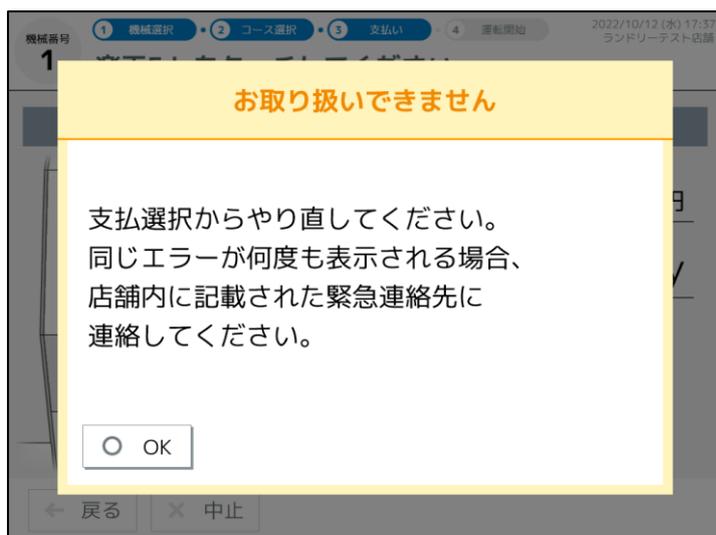
この間は「ランドリーDX」で読み込むための QR コードは表示されません。

システムが起動するまでお待ちください。

デジタルサイネージ画面が表示された場合は、システムが起動している状態となりますので、通常通り操作を行っていただけます。

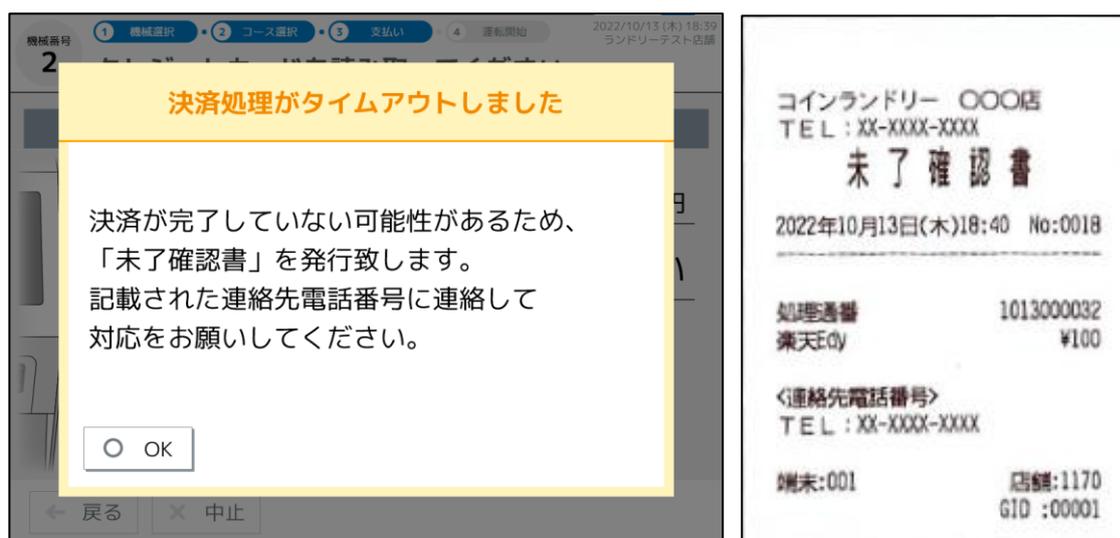
4. エラーが発生した場合の対応

4.1 お支払時にエラーが発生した場合



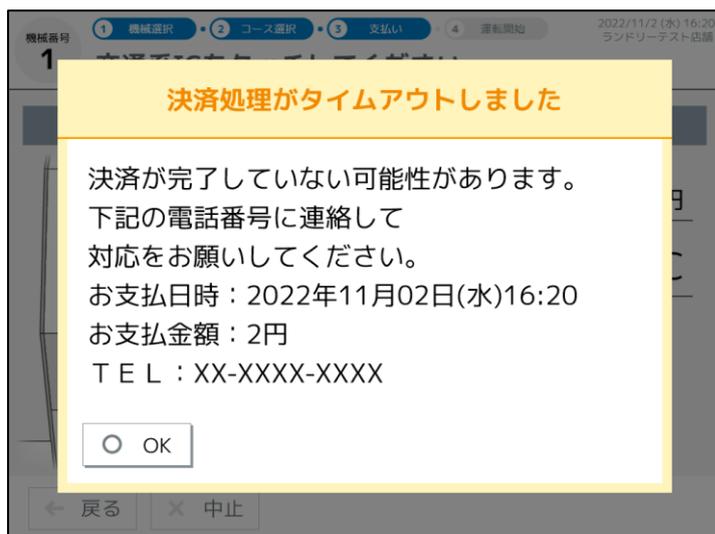
上記の画面が表示された場合、残高不足や通信状況の不調などの理由で決済が行えていません。
[OK]ボタンをタッチしてお支払方法選択画面から再度、お支払を行ってください。

4.2 お支払時にタイムアウトが発生した場合 (未了確認書印刷あり)



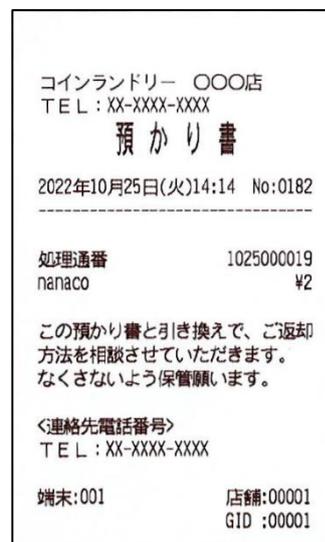
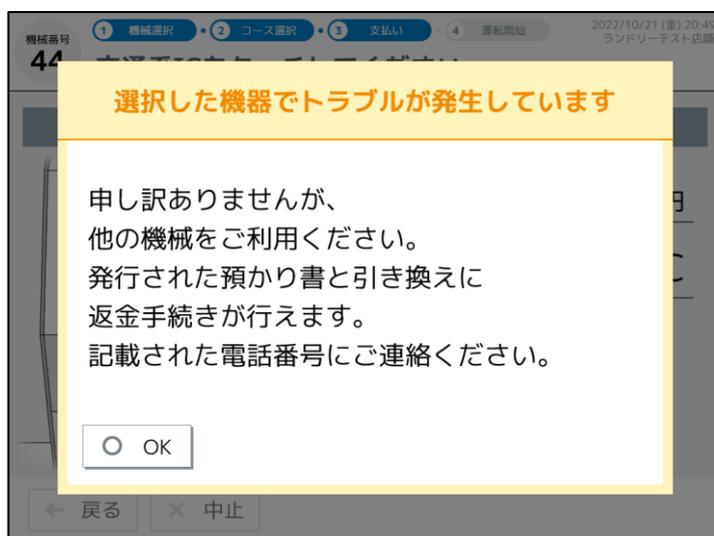
上記の画面が表示された場合、通信状況の不調などの理由で決済結果の確認が行えていません。
印刷された「未了確認書」をお持ちになり、連絡先電話番号まで連絡してください。
決済が成功していることを確認できた場合、返金などの対応を相談させていただきます。
また、ランドリー機器は運転を開始していません。
再度、お支払を行っていただくか、「ランドリーDX」でのお支払をお願いします。

4.3 お支払時にタイムアウトが発生した場合（未了確認書印刷なし）



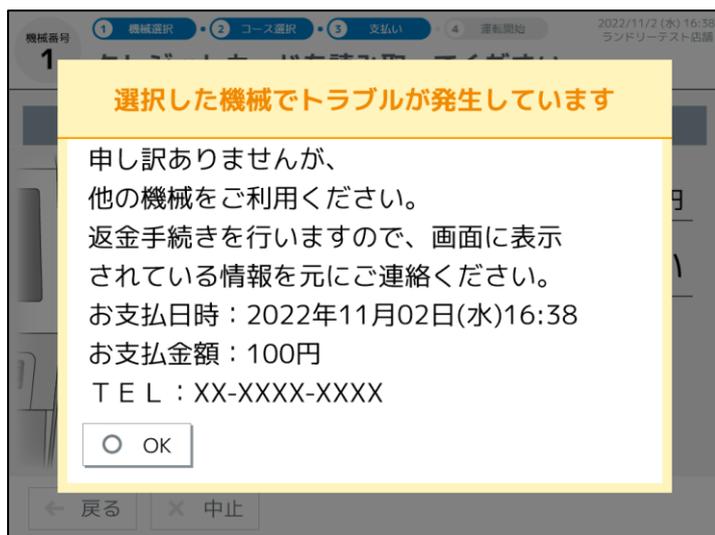
上記の画面が表示された場合、通信状況の不調などの理由で決済結果の確認が行えていません。また、プリンタトラブルにより「未了確認書」の印刷も行えなかった状態です。決済の状況、および、画面に表示されている内容を控えていただき、連絡先電話番号まで連絡してください。決済が成功していることを確認できた場合、返金などの対応を相談させていただきます。また、ランドリー機器は運転を開始していません。再度お支払を行っていただくか、「ランドリー-DX」でのお支払をお願いします。

4.4 ランドリー機器の運転に失敗した場合（預かり書印刷あり）



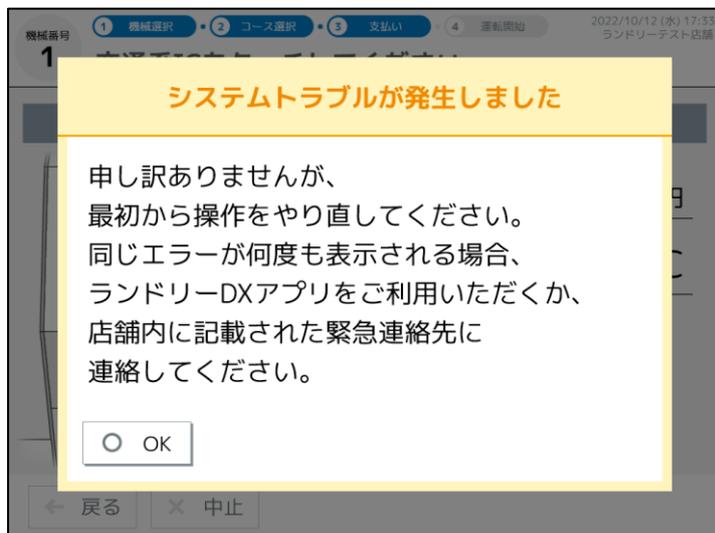
上記の画面が表示された場合、お支払は完了していますがランドリー機器の運転開始に失敗しています。印刷された「預かり書」をお持ちになり、連絡先電話番号まで連絡してください。返金などの対応を相談させていただきます。また、ランドリー機器は運転を開始していません。最初から操作をやり直していただくか、洗濯物を別のランドリー機器に移して、再度、操作を行ってください。

4.5 ランドリー機器の運転に失敗した場合（預かり書印刷なし）



上記の画面が表示された場合、お支払は完了していますがランドリー機器の運転開始に失敗しています。また、プリンタトラブルにより「預かり書」の印刷も行えなかった状態です。決済の状況、および、画面に表示されている内容を控えていただき、連絡先電話番号まで連絡してください。返金などの対応を相談させていただきます。また、ランドリー機器は運転を開始していません。最初から操作をやり直していただくか、洗濯物を別のランドリー機器に移して、再度、操作を行ってください。

4.6 操作中にシステムトラブルが発生した場合



操作中に上記の画面が表示された場合、システムエラーの発生により操作を継続できません。[OK]ボタンをタッチして最初から操作をやり直してください。何度もシステムトラブルが表示される場合、店舗に表示されているお問い合わせ先までご連絡ください。

4.7 取扱停止中の場合



上記の画面が表示されている場合、システムの異常やメンテナンスなどの理由でお取り扱いができない状態です。店舗に表示されているお問い合わせ先までご連絡ください。

4.8 画面が真っ黒になっている場合

情報端末の電源が入っていない可能性が考えられます。
店舗に表示されているお問い合わせ先までご連絡ください。

4.9 操作を中止したが機器のドアロックが解除されていない場合

ドアロックの解除に失敗した可能性が考えられます。
5分程で自動的にドアロックが解除されますので、しばらくお待ちください。

4.10 操作を一旦中止して同じ機器が選択できない場合

ネットワークエラーなどにより情報の伝達が正常に行えなかった可能性が考えられます。
5分程で再操作できる状態になりますので、しばらく経ってから、再度、操作を行ってください。

管理画面の使用法

1. 管理メニュー

管理メニューは、領収書の再印刷や定期的な精算業務、取引履歴の確認など販売業務以外の業務を行う画面となります。

1.1 画面各部の名称と機能

管理メニュー画面

The screenshot shows the Management Menu interface. At the top left is the title '管理メニュー'. To its right are two status boxes: a blue one for 'Ver.1.0.0.39' and a green one for '端末番号(001)'. Below these are two buttons: a blue '運用終了' button (1) and a red '販売モードに戻る' button (2). On the left, a date field (3) shows '2022年 10月 25日'. The main area contains 17 numbered buttons arranged in a grid:

- ④ 補充
- ⑤ 回収
- ⑥ 精算
- ⑦ 売上レシート再発行
- ⑧ 領収証再発行
- ⑨ テスト印刷
- ⑩ 取引履歴確認
- ⑪ 期間集計
- ⑫ 取扱中止表示
- ⑬ 操作ログ送信
- ⑭ 自動釣銭機状態クリア
- ⑮ 設定変更
- ⑯ ジャーナル印刷
- ⑰ 未送信データ再送信

機能一覧

N o	名称	説明
①	運用終了	運用終了画面を表示します。その後、 選択した内容に従ってシステムを終了します。
②	販売モードに戻る	管理メニュー画面を終了し、販売モード画面へ戻ります。
③	業務日付	業務日付を表示します。
④	補充	操作はありません。
⑤	回収	操作はありません。
⑥	精算	一日の業務の締めを行います。
⑦	売上レシート再発行	直近に印刷したレシート（注文票）を再印刷します。
⑧	領収証再発行	操作はありません。
⑨	テスト印刷	プリンタの動作確認のため、テスト印刷を行います。
⑩	取引履歴確認	過去の取引の履歴情報を表示することができます。
⑪	期間集計	操作はありません。
⑫	販売終了表示	運用上の都合や、機械の故障により取扱いを休止 したい場合に強制的に販売終了状態にします。
⑬	操作ログ送信	上位のサーバへシステムのログを送信します。
⑭	自動釣銭機状態クリア	操作はありません。
⑮	設定変更	操作はありません。
⑯	ジャーナル印刷	操作はありません。
⑰	未送信データ送信	前回送信できなかった精算データなどのデータを 再送信します。
⑱	端末情報	現在のシステムバージョンと端末番号が 表示されています。

【補足事項】 管理メニュー画面の表示について

管理メニューのボタンは、お客様からの誤操作を防ぐため、通常、非表示の状態となっています。
次ページの方法で管理メニューを表示してください。

1.2 管理メニューの表示方法

QRコード画面



QRコード画面の画面左上の部分
約3秒間タッチし続けてください。
[管理メニュー表示]ボタンが表示されます。

[管理メニュー表示]ボタンが表示された後、



ボタンをタッチしてください。
[管理メニュー表示]ボタンは、タッチせずに
一定時間(約10秒)経過後に非表示となります。

[管理メニュー表示]ボタンをタッチ後、
パスワード入力を求められます。
設定されているパスワードを入力されると
管理画面が表示されます。



管理メニューが表示されます。

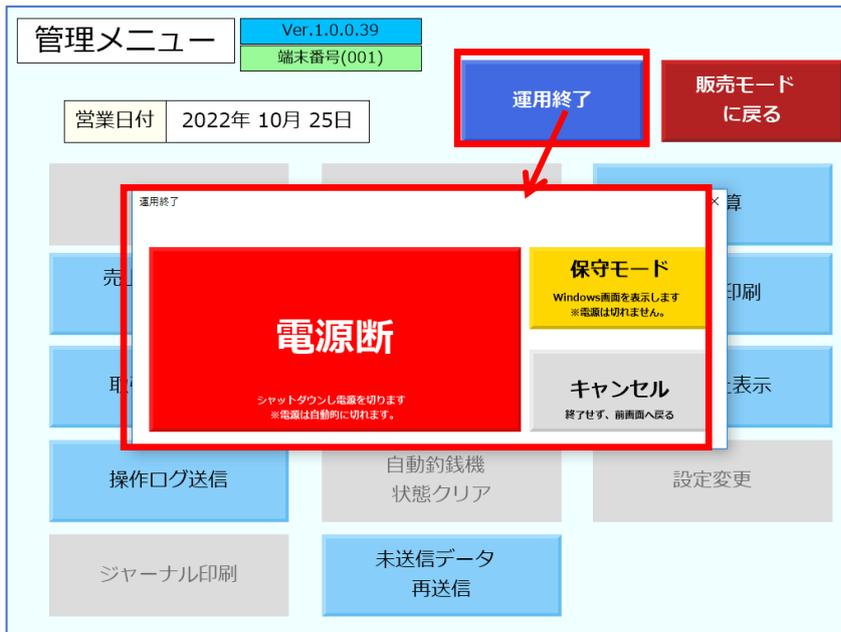
2. 管理メニューの操作

2.1 運用終了

[運用終了]ボタンをタッチすると運用終了ポップアップが表示されます。

情報端末自体の電源シャットダウン、デスクトップ画面の表示を行うことができます。

運用終了画面

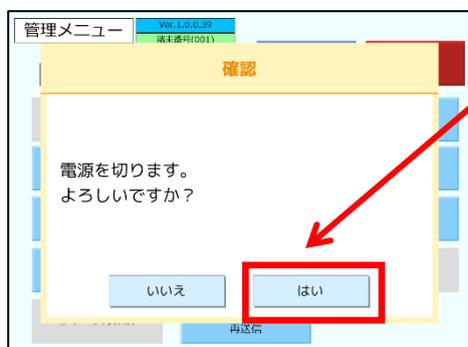


2.1.1 電源断（シャットダウン）をする

[運用終了]ボタンをタッチしてください。運用終了画面が表示されます。

[電源断]ボタンをタッチしてください。シャットダウン確認メッセージが表示されます。

シャットダウン確認ポップアップ



[[はい]を選択すると、情報端末システムをシャットダウンし、端末本体の電源を切ります。

2.1.2 デスクトップを表示する

[運用終了]ボタンをタッチしてください。運用終了画面が表示されます。

[保守モード]ボタンをタッチしてください。Windows 画面表示確認メッセージが表示されます。

Windows 画面表示確認ポップアップ



[[はい]をタッチすると、情報端末システムを終了し、Windows 画面を表示します。

[補足事項] 保守モードについて

保守モード(Windows 画面に戻る)は、メンテナンスを行う場合以外は使用しないでください。Windows 画面を表示した後は、保守会社によるリモートメンテナンス、または、キーボードを接続しない限り操作が行えません。必ずメンテナンスを計画している場合のみ使用するようしてください。

2.2 精算

[精算]ボタンをタッチすることで精算画面が表示されます。

点検レポートの印刷や、営業日の締め精算処理を行っていただきます。

管理メニュー

管理メニュー Ver.1.0.0.39
端末番号(001)

営業日付 2022年 10月 25日

運用終了 販売モードに戻る

補充	回収	精算
売上レシート再発行	領収証再発行	テスト印刷
取引履歴確認	期間集計	取扱中止表示
操作ログ送信	自動釣銭機状態クリア	設定変更
ジャーナル印刷	未送信データ再送信	

精算画面

精算集計 処理

精算番号指定
番号を指定する

NO.	精算番号	精算日時
1	0022	2022年 10月 25日
2	0021	2022年 10月 25日
3	0020	2022年 10月 24日
4	0019	2022年 10月 24日

精算処理開始

回収処理

点検レポート印字 点検レポートプレビュー

管理メニューに戻る

精算レポート再印刷

管理メニューへ戻ります。

精算レポートを再印刷できます。

業務途中の売上データの印刷を行うことや画面に表示することができます。

2.2.1 精算を開始する

[精算処理開始]ボタンをタッチすることで精算処理を実行します。

精算処理が完了すると、精算レポートが印刷され、自動的に当日の営業日で営業を開始します。

精算画面

The screenshot shows a software interface for settlement. At the top, there are buttons for '精算集計 処理', '精算レポート 再印刷', and '管理メニュー に戻る'. Below these is a section for '精算番号指定' with a '番号を指定する' button. A table lists settlement items with columns for 'NO.', '精算番号', and '精算日時'. At the bottom, there are buttons for '回収処理', '点検レポート 印字', and '点検レポート プレビュー'. A red box highlights the '精算処理開始' button, with a red arrow pointing to it from the text on the right.

NO.	精算番号	精算日時
1	0022	2022年 10月 25日
2	0021	2022年 10月 25日
3	0020	2022年 10月 24日
4	0019	2022年 10月 24日

[精算処理開始]ボタンをタッチしてください。
精算処理が実行され、精算レポートが印刷されます。

精算レポートレイアウト

【精算】取引別		
2022年11月02日(水)16:18		No:0026
業務開始	2022/11/02 15:52:34	
<売上>		
総売上		¥800
総客数		8
1客単価		¥100
<支払方法別売上>		
	件数	金額
クレジットカード	1件	¥100
電子マネー		
楽天Edy	1件	¥100
ID	1件	¥100
QUICPay	1件	¥100
交通系IC	1件	¥100
WAON	1件	¥100
nanaco	1件	¥100
コード支払	1件	¥100
合計	8件	¥800
<決済処理未了 発生状況>		
	件数	金額
コード支払	1件	¥100
合計	1件	¥100
<返金処理 発生状況>		
	件数	金額
預かり書	1件	¥100
取消	1件	¥100
端末:999	店舗:99999 GID :99999	

<売上>項目には、前回精算時からの売上集計が印字されます。
 売上の取消があった場合、取り消した売上分は加算されません。

<支払方法別売上>項目には、支払方法毎の売上集計が
 印字されます。
 売上の取消があった場合、取り消した売上分は加算されません。

<決済処理未了 発生状況>には、決済処理の成否が
 確認できなかった件数と金額が印字されます。

<返金処理 発生状況>には、預かり書を発行した売上の集計、
 および、売上の取消を行った分の集計を印字します。

2.2.2 点検レポートについて

業務途中に当日の売上データの確認を行うことができます。
点検レポートの確認は、業務中何度でも行うことができます。

精算画面

NO.	精算番号	精算日時
1	0022	2022年 10月 25日
2	0021	2022年 10月 25日
3	0020	2022年 10月 24日
4	0019	2022年 10月 24日

Buttons: 精算レポート再印刷, 管理メニューに戻る, 精算処理開始, 点検レポート印字, 点検レポートプレビュー, 回収処理

点検レポートを印刷したい場合は[点検レポート印字]ボタンをタッチしてください。

印刷せずに画面に表示したい場合は[点検レポートプレビュー]ボタンをタッチしてください。点検レポートの出力候補が表示されます。

[点検レポートプレビュー]をタッチした場合の画面

【点検】取引別

2022年10月26日 (水) 13:02
No:0023

業務開始 2022/10/25 15:21:32
<売上>

総売上	¥6
総容数	3
1容単価	¥2

<支払方法別売上>

Buttons: 最初, 前ページ, 戻り, 次ページ, 最後, 戻る

画面に印刷データのプレビューが表示されます。スクロールして全体を確認できます。

精算画面に戻ります。

2.2.3 精算レポートの再印刷をしたい場合

過去に清算した精算レポートの再印刷を行うことができます。

1. 過去 5 回分の精算レポートの中から再印刷する。

精算画面

精算集計 処理

精算レポート再印刷

管理メニューに戻る

精算番号指定

番号を指定する

NO.	精算番号	精算日時
1	0022	2022年 10月 25日
2	0021	2022年 10月 25日
3	0020	2022年 10月 24日
4	0019	2022年 10月 24日

精算処理開始

回収処理

点検レポート印字

点検レポートプレビュー

直近に精算した過去 5 回分の精算データが表示されています。

印刷したい精算番号の行をタッチすると、選択した精算番号の行が黄色に変わります。



精算集計 処理

精算レポート再印刷

管理メニューに戻る

精算番号指定

番号を指定する

NO.	精算番号	精算日時
1	0022	2022年 10月 25日
2	0021	2022年 10月 25日
3	0020	2022年 10月 24日
4	0019	2022年 10月 24日

精算処理開始

回収処理

点検レポート印字

点検レポートプレビュー

[精算レポート再印刷]ボタンをタッチしてください。選択した精算レポートが再印刷されます。

2. 精算レポート番号を指定して再印刷する。

精算画面

NO.	精算番号	精算日時
1	0022	2022年 10月 25日
2	0021	2022年 10月 25日
3	0020	2022年 10月 24日
4	0019	2022年 10月 24日

[精算番号指定]をタッチしてください。
精算番号を入力するテンキーが表示されます。

精算番号
精算番号を入力してください。

【精算】取引別
2021年03月06日(土) 13:10
業務開始 2021/03/05 20:20:15
<売上>
No:0002

精算番号は赤枠部分の
番号です。
他のレポートにも同じ番号が
印字されています。

NO.	精算番号	精算日時
1	0022	2022年 10月 25日
2	0021	2022年 10月 25日
3	0020	2022年 10月 24日
4	0019	2022年 10月 24日

[精算レポート再印刷]ボタンをタッチしてください。
入力した精算番号の精算レポートが再印刷されます。

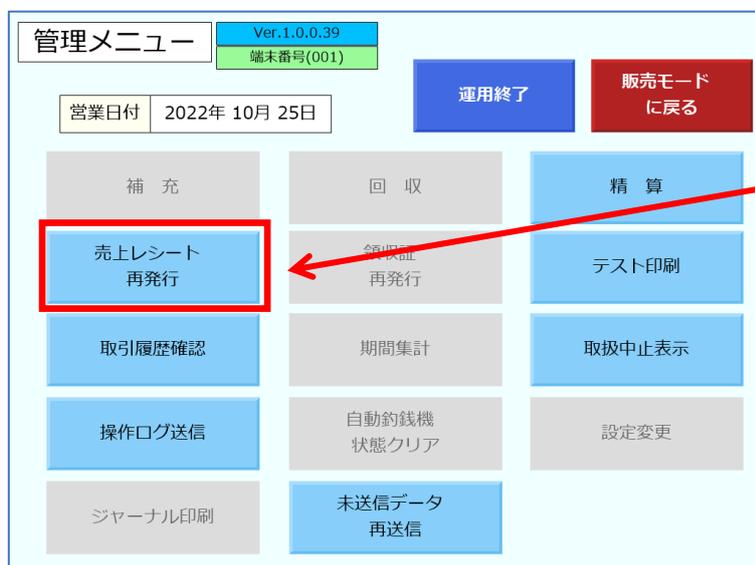
2.3 売上レシート再発行

直前に発行した領収書を再印刷することができます。

※ 再印刷できるのは直前に発行した領収書 1 件のみとなります。

2.3.1 レシート再発行をする

管理メニュー画面



[売上レシート再発行]ボタンをタッチしてください。

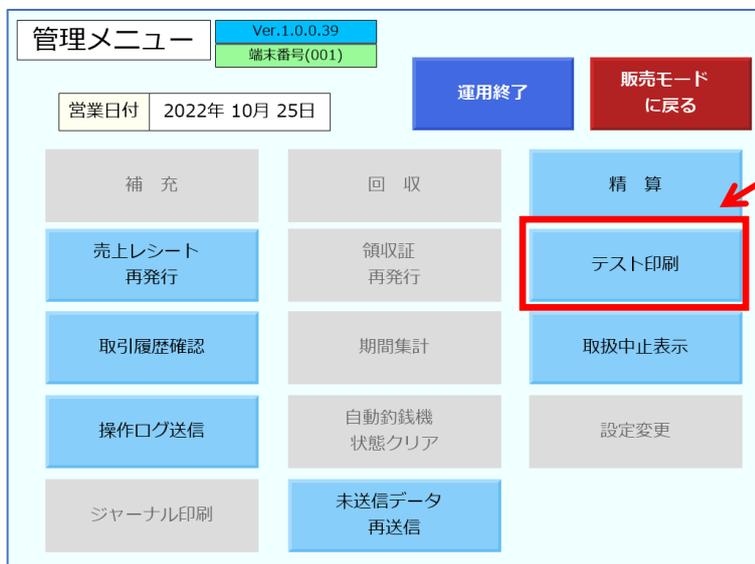
直前に発行した領収書が再印刷されます。再発行した領収書には「再発行」の文字が記載されます。

2.4 テスト印刷

レシートのテスト印刷を行い、プリンタの動作テストを行うことができます。
レシート用紙の交換を行った後などに印刷内容のテストを行うことができます。

2.4.1 テスト印刷をする

管理メニュー画面



[テスト印刷] ボタンをタッチしてください。
レシートのテスト印刷が行われます。
テスト印刷したレシートには、
「テスト印字」の字が記載されます。

2.5 取引履歴確認

指定した期間内の売上した取引の履歴を検索し、確認することができます。

検索条件を指定することで、特定の条件の売上データを検索できます。

管理メニュー画面

管理メニュー Ver.1.0.0.39
端末番号(001)

営業日付 2022年 10月 25日

運用終了 販売モードに戻る

補充 回収 精算

売上レシート再発行 領収証再発行 テスト印刷

取引履歴確認 期間集計 取扱中止表示

操作ログ送信 自動釣銭機状態クリア 設定変更

ジャーナル印刷 未送信データ再送信

[取引履歴確認]ボタンをタッチしてください。

取引履歴確認画面

取引履歴確認 2022/10/26 (水) 13:02

管理メニューに戻る

売上日時 検索条件

00時 00分 00秒

~

23時 59分 59秒

取引番号 支払方法 すべて

金額

取引種別 売上 処理未了 預かり書

クリア 検索

取引履歴を検索する条件を指定します。

検索条件に入力している内容をすべてクリアします。

検索条件に該当する取引履歴を検索し明細画面に表示します。

1. 履歴を検索したい日付を指定する

① クリア 00時 00分 00秒

~

② クリア 23時 59分 59秒

取引履歴を検索したい売上日時の範囲を指定してください。

① の日付の入力欄、または入力ボタンをタッチすると、カレンダーダイアログが表示されます。

検索をしたい日付の開始日を入力してください。

② の日付には検索をしたい日付の終了日を入力してください。

時間指定をしたい場合は、時間の入力欄、または入力ボタンをタッチすることでテンキーダイアログが表示されます。

検索したい時刻を入力してください。

2. 取引番号を指定する

取引番号

検索したい取引番号が分かっている場合は取引番号を指定してください。

[取引番号]の入力欄をタッチすると、テンキーダイアログが表示されます。

検索したい取引番号を入力してください。

取引番号は、お客様が注文された際に印刷されるレシートに印字されている番号です。

コインランドリー 〇〇〇店
TEL: XX-XXXX-XXXX
領収書
2022年10月12日(水)16:00 No:0047
1号機 乾燥 10分 ¥100
合計 ¥100
電子マネー利用 ¥100
端末:001 店舗:00001
GID:00001

取引番号は、領収書の日時の右側に表示される「No:」から始まる番号です。

3. 検索する金額範囲を入力する



検索する取引の金額の範囲を指定して検索をすることができます。

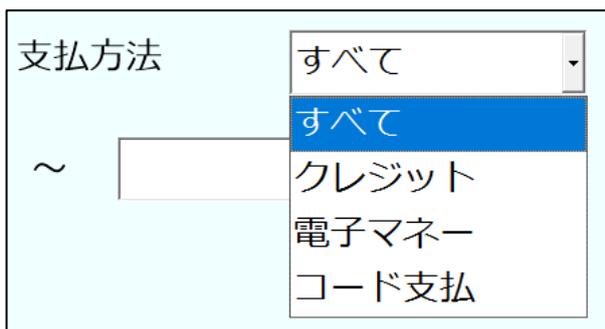
[金額]の入力欄をタッチすると、テンキーダイアログが表示されます。

検索したい金額の範囲を入力してください。

①に検索する金額の最低金額、②に検索する金額の上限金額を入力してください。

取引の合計金額が、入力した範囲の金額内に収まる取引が検索されます。

4. 支払方法を指定する



[支払方法]をタッチすると、一覧が表示されます。

検索したい支払方法を選択してください。

選択した支払方法でお支払いされた取引のみ検索されます。

5. 取引種別を指定する



検索したい取引の種類を選択してください。

「売上」を選択した場合は、正しく売上された取引のみ検索され、「処理未了」を選択した場合は決済が正しく行われなかった取引、「預かり書」を選択した場合は決済が正しく行われたが、運転開始が行えなかった取引が検索されます。

6. 取引履歴を検索する。



[検索]ボタンをタッチして、取引履歴の検索を行ってください。
入力した検索条件の取引が一覧部分に表示されます。



取引履歴確認画面

取引履歴確認 2022/10/26 (水) 13:02

表示形式 **取引一覧** 取引明細表示 決済レシート確認

NO.	取引番号	売上日時	点数	金額	
0024	0182	2022-10-25 14:14:47		¥2	最初
0023	0158	2022-10-21 21:08:42		¥2	前ページ
0022	0157	2022-10-21 21:08:11		¥2	
0021	0154	2022-10-21 20:58:07		¥2	▲
0020	0153	2022-10-21 20:57:45		¥2	
0019	0152	2022-10-21 20:57:24		¥2	
0018	0151	2022-10-21 20:57:05		¥2	
0017	0150	2022-10-21 20:56:44		¥2	
0016	0149	2022-10-21 20:56:25		¥2	▼
0015	0148	2022-10-21 20:56:01		¥2	
0014	0147	2022-10-21 20:55:40		¥2	前ページ
0013	0146	2022-10-21 20:55:22		¥2	
0012	0145	2022-10-21 20:54:49		¥2	最後

売上レシート再発行

戻る

取引番号、売上日時、合計点数、合計金額が一覧に表示されます。
検索結果が画面に収まらない場合は、スクロールボタンを操作していただくことで、画面を切り替えていただくことができます。
「点数」や「金額」の部分タッチすると、タッチした項目を基準にして並べ替えを行うことができます。

取引履歴確認 2022/10/26 (水) 13:02

表示形式 **取引一覧** 取引明細表示 決済レシート確認

NO.	取引番号	売上日時	点数	金額	
0024	0182	2022-10-25 14:14:47		¥2	最初
0023	0158	2022-10-21 21:08:42		¥2	前ページ
0022	0157	2022-10-21 21:08:11		¥2	
0021	0154	2022-10-21 20:58:07		¥2	▲
0020	0153	2022-10-21 20:57:45		¥2	
0019	0152	2022-10-21 20:57:24		¥2	
0018	0151	2022-10-21 20:57:05		¥2	
0017	0150	2022-10-21 20:56:44		¥2	
0016	0149	2022-10-21 20:56:25		¥2	▼
0015	0148	2022-10-21 20:56:01		¥2	
0014	0147	2022-10-21 20:55:40		¥2	前ページ
0013	0146	2022-10-21 20:55:22		¥2	
0012	0145	2022-10-21 20:54:49		¥2	最後

売上レシート再発行

戻る

検索した取引の明細を表示したい場合は、表示したい取引をタッチしてください。
タッチした取引の行が黄色になり、選択中の状態になります。

選択した状態で、[表示形式]を[取引明細表示]へ変更してください。

表示形式 取引一覧 **取引明細表示** 決済レシート確認



取引履歴確認 2022/10/26 (水) 13:03

表示形式 取引一覧 **取引明細表示** 決済レシート確認

NO.	取引番号	売上日時	点数	金額
0024	0182	2022-10-25 14:14:47		¥2

NO.	商品コード	商品名	点数	金額
0		34号機 洗濯乾燥コース	1	¥2

売上レシート再発行

戻る

選択中の取引の明細に画面が切り替わり、取引の商品情報が画面に表示されます。

2.5.1 レシートの再印刷をしたい場合

検索結果の中からレシートの再印刷を行うことができます。再印刷したい取引の行をタッチしてください。

取引履歴確認画面

取引履歴確認					2022/10/26 (水) 13:02	
表示形式						
取引一覧					取引明細表示	
決済レシート確認						
NO	取引番号	売上日時	占数	金額		
0024	0182	2022-10-25 14:14:47		¥2		
0023	0158	2022-10-21 21:08:42		¥2	販売	
0022	0157	2022-10-21 21:08:11		¥2		
0021	0154	2022-10-21 20:58:07		¥2	▲	
0020	0153	2022-10-21 20:57:45		¥2		
0019	0152	2022-10-21 20:57:24		¥2		
0018	0151	2022-10-21 20:57:05		¥2		
0017	0150	2022-10-21 20:56:44		¥2		
0016	0149	2022-10-21 20:56:25		¥2	▼	
0015	0148	2022-10-21 20:56:01		¥2		
0014	0147	2022-10-21 20:55:40		¥2	販売	
0013	0146	2022-10-21 20:55:22		¥2		
0012	0145	2022-10-21 20:54:49		¥2	最後	

[売上レシート再発行]をタッチしてください。
選択した取引のレシートが再印刷されます。

2.6 取扱中止表示

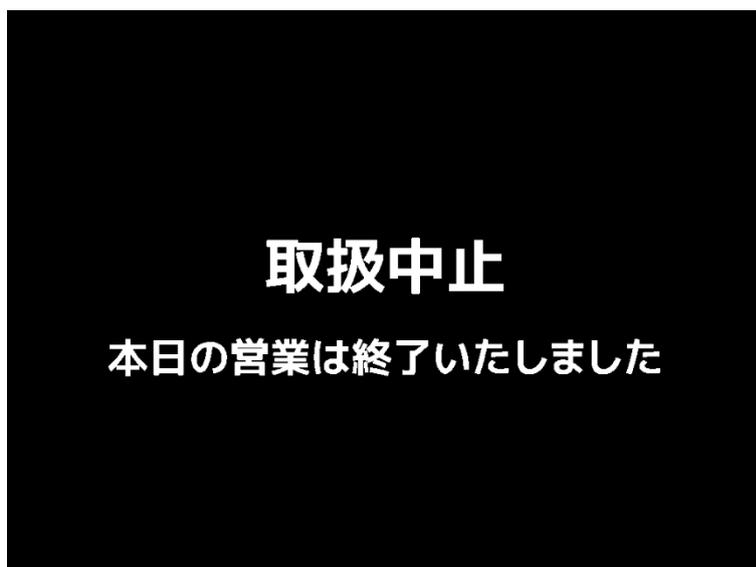
営業時間中の動作不良時など、お客様からの操作を中止させたい場合に表示します。

2.6.1 取扱中止画面を表示する

管理メニュー画面

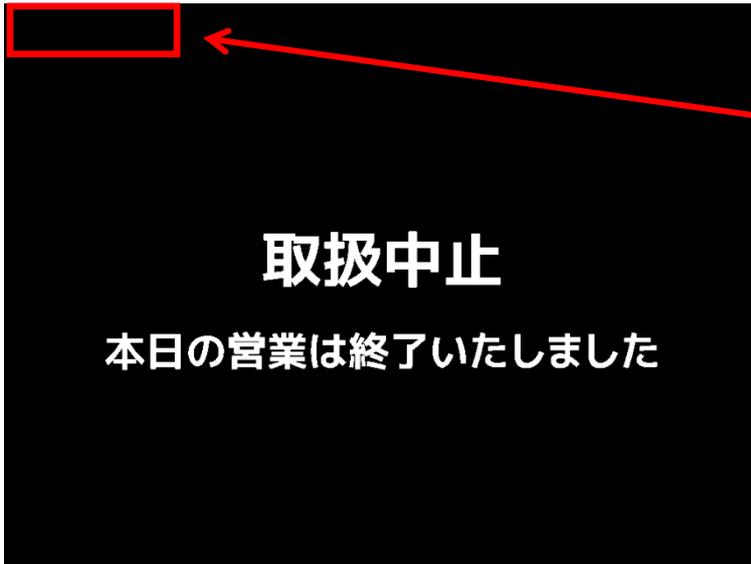


[取引中止表示] ボタンをタッチしてください。
販売終了画面が表示されます。



2.6.2 取扱中止画面を終了する

取扱中止画面



画面左上の部分約 3 秒間
タッチし続けてください。
[管理メニュー表示]ボタンが表示されます。

[管理メニュー表示]ボタンが表示された後、の操作は QR コード画面の同様です。

2.7 操作ログ送信

情報端末システムの操作記録を上位のサーバに送信することができます。

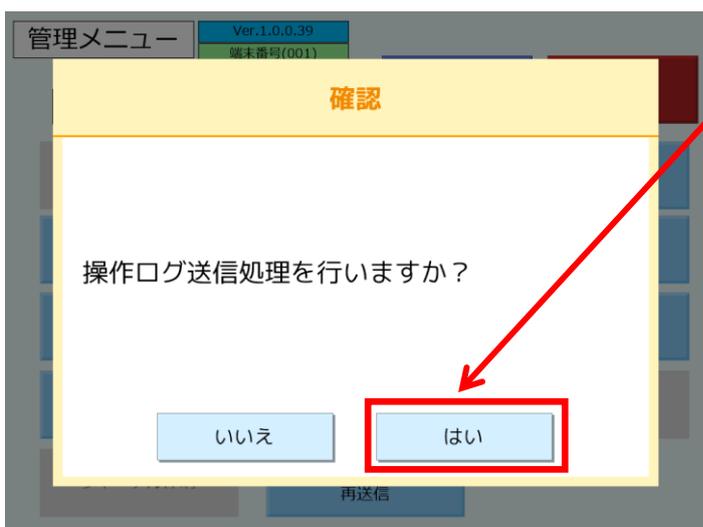
2.7.1 上位サーバへログを送信する

管理メニュー画面



[操作ログ送信]ボタンをタッチしてください。
操作ログ送信確認メッセージが表示されます。

操作ログ送信確認メッセージ



[はい]をタッチすると、操作ログを上位サーバへ送信します。

2.8 未送信データ再送信

精算時に通信エラーが発生しデータを上位サーバに送信できなかった場合に、送信に失敗したデータを再送信できます。

2.8.1 上位サーバへデータを再送信する

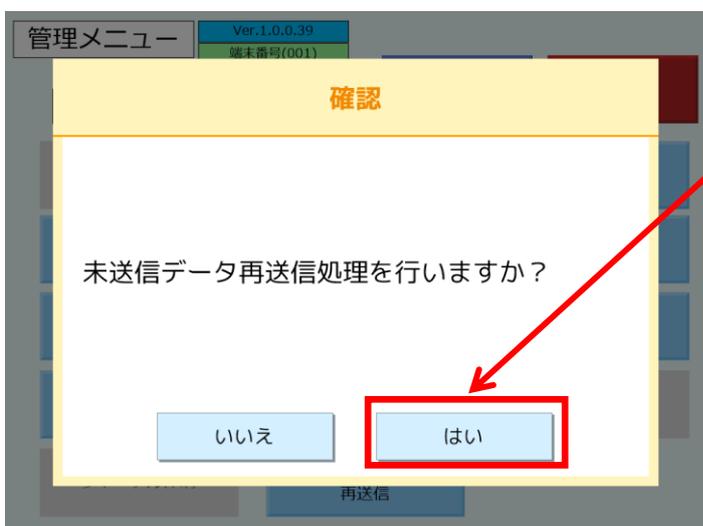
管理メニュー画面



[未送信データ再送信]ボタンをタッチしてください。送信確認メッセージが表示されます。



送信確認メッセージ



[はい]をタッチすると、未送信データを上位サーバへ送信します。

保証

●ご不明な点や修理に関するご相談

・修理に関するご相談ならびに、お取り扱い、お手入れに関するご不明な点はお買い上げの販売店にご相談ください。

●保証書（別添）

- ・保証書は別途添付しております。
- ・保証書は必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取って頂き、内容を良くお読みになった後、大切に保管してください。
- ・本機の保証期間はお買い上げ頂いた日から1年です。
その他、詳しくは保証書をご覧ください。

●補修用性能部品の保有期間

- ・本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後「13年」です。
- ・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理を依頼されるときは

・異常があるときは、お使いになるのをやめ、電源を切りましてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中

・保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合

・保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

《免責事項について》

- ・地震、雷、火災、第三者の行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な障害（事業利益の中断による損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・海外で使用した場合当社は一切の責任を負いません。

《お願い》

- ・労働安全衛生法 第45条1項、労働安全衛生規則第141条3項 第299条により、お客様は1年に1回の自主検査を義務付けられています。
- ・そしてお客様はその記録を3年間保管するよう義務付けられています。
- ・機械を安全に操作し良好な状態に保つため、適切に使用し、適時清掃、点検を行ってください。
付きましては、サービスマンの定期保守点検サービス（有償）をご利用くださるようお勧めします。

アフターサービスについて

- ご使用中に異常が生じたときは、使用をやめ電源プラグを抜いてお買い上げの販売店または当社サービス店までご相談ください。
なお、その際に型式名、製造No.およびお買い上げ時期をお知らせください。

販売店様名:

TEL: () - 購入年月日: 年 月 日

本取扱説明書において掲載されているすべての内容の著作権は、株式会社 TOSEI(以下当社といいます)に帰属しています。

著作権法および関連法律、条約により、私的使用など明示的に認められる範囲を超えて、本取扱説明書の掲載内容（文章、画像、映像、プログラムなど）の一部およびすべてについて、事前の許諾なく無断で複製、転載、送信、放送、配布、貸与、翻訳、変造することは、著作権侵害となり、法的に罰せられることがあります。

このため、当社の許可無く、掲載内容の一部およびすべてを複製、転載または配布、印刷など、第三者の利用に供することを禁止します。

株式会社 TOSEI

静岡事業所	〒410-2325 静岡県伊豆の国市中島 244	0120-557-338
東京支社	〒141-0022 東京都品川区東五反田 1-24-2	(03) 6422-7290(代)
東北支店	〒984-0075 宮城県仙台市若林区清水小路 6-1	(022)778-5106(代)
中部支店	〒465-0032 愛知県名古屋市名東区藤が丘 141	(052)772-3988(代)
関西支店	〒564-0051 大阪府吹田市豊津町 30-28	(06)6338-9601(代)
九州支店	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東 2-8-3	(092)482-6613(代)
広島営業所・鹿児島営業所		

●ホームページのアドレス <https://www.tosei-corporation.co.jp/>